発売元

ダイハツ工業株式会社

NMZK-W70D ワイドエントリーメモリーナビ / NMZK-W70D2 ワイドエントリー（TV レス）メモリーナビ

ダイハツ純正

NMZK-W70D (08545-K9135)

〔NMZK-W70D2 (08545-K9137)〕

ワイドエントリーメモリーナビ
〔ワイドエントリー（TVレス）メモリーナビ〕

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社

DOLBY AUDIO™

Made for iPhone | iPod

Bluetooth®

DVD VIDEO™ SD XC™ VICS WIDE 地デジ DIGITAL 1SEG

B5A-3035-00（J）

目次

はじめに

安全上のご注意.....6
使用上のご注意.....9
簡単機能ガイド.....11
本書の読みかた.....14
本書の構成.....14
本書の表記.....15

基本操作

各部の名称とはたらき.....16
基本操作.....18
電源を入れる / 切る.....18
電源オン.....18
電源オフ.....18
フロントパネルの角度を調整する.....18
視野角を調整する.....18
本機の画面 / リストの操作.....19
マイメニューを使う.....20
マイメニューを表示する.....20
ショートカットキーを割り当てる.....20
特別メモリ地点の編集をする.....20
車両メンテナンス情報を設定する.....21
お問い合わせ情報を表示 / 編集する.....22
サブメニューを使う.....23
サブメニューを表示する.....23
ユーザーを切り替える.....23
画面オフ.....24
画面の明るさ.....24
画面のボタンサイズを変更する.....24
ボタンの位置を入れ替える.....25
入れ替えたボタンを初期化する.....26
文字入力のしかた.....26
入力方法を切り替える.....26
文字の種類を切り替える.....26
入力パレットで文字を入力する.....27
トグル入力で文字を入力する.....27
ステアリングスイッチを使う.....28
ステアリングスイッチの設定について.....28
＊キーに機能を割り当てる.....28
ステアリングスイッチの設定をする.....29
独自に機能を割り当てる.....30
表示言語を切り替える.....32
ナビデータを消去する.....32
はっきり音声機能を使う.....33

ナビゲーション

地図の見かたと操作.....34
現在地図画面の見かた.....34
ランドマークの情報を見る.....35
地図の縮尺を変える.....35
市街地図について.....36
地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える...36
地図を 2 画面表示する.....37
地図をスクロールする.....37
スクロールしたときの地図表示.....38
マップクリップを利用する.....39
ショートカットボタンを使う.....39
周辺検索と周辺情報を取得する.....40
ナビゲーションの流れ.....41
自宅を登録する / 自宅に帰る.....42
自宅を登録する.....42
自宅を変更する.....43
自宅へ帰る.....43
行き先を探す.....44
名称から探す.....44
エリアを指定して検索する.....45
ジャンルで絞り込む.....46
ジャンルから探す.....47
登録地点から探す.....48
住所から探す.....48
履歴から探す.....49
履歴を削除する.....49
電話番号・郵便番号・マップコードで探す...50
NaviCon で探す.....50
本機とスマートフォンを接続する.....50
NaviCon からナビの地図表示を操作する..51
目的地を設定する.....51
NaviCon 友達マップ機能を使う.....51
提携駐車場を行き先に設定する.....53
ルートの探索と案内.....54
ルートの探索と案内を開始する.....54
目的地に設定してルートを探索する.....54
ルートの探索条件を選択して案内を開始する...54
VICS によるルート探索.....55

複数の到着地点情報があったとき 55
ルート案内画面について 56
一般道路でのルート案内 56
高速道路でのルート案内 57
案内ポイントでの割り込み表示 58
ここです案内表示 58
交差点案内図の表示 58
高速道分岐イラストの表示 58
ETC レーン表示 59
案内先読みガイド表示 59
音声案内について 60
逆走注意喚起について 61
逆走時の案内について 61
ルートを再探索する 62
ルートを編集する 62
経由地を追加する 62
目的地・経由地の順番を入れ替える 63
目的地・経由地を削除する 63
利用するインターチェンジを変更する 64
変更したインターチェンジを元に戻す 64
走行中のルートを表示する 65
ルート全体を表示する 65
目的地を表示する 65
ルート案内を終了する 66
ルートから外れたときは 66
地点を登録する 67
地点を登録する 67
登録した地点をリストで見る 67
登録地点を編集する 68
グループを編集する 69
登録地点を削除する 69

オーディオ・ビジュアル

AV の基本操作 70
ソースを切り替える 70
ソースをオフ（スタンバイ）にする 70
AV 画面を表示する 70
現在地図画面から AV 画面を表示する 70
画質を調整する 71
映像の画面表示サイズを変更する 71
AM または FM を聴く 72
画面の見かたと操作 72
プリセットモードを切り替える 73
エリアモードの放送局をリストから選局する 73
放送局を登録（プリセット）する 73
交通情報を受信する 74
地デジを視聴する（NMZK-W70D のみ）..... 74
画面の見かたと操作 74
プリセットモードを切り替える 75
放送局を登録（プリセット）する 76
番組表を見る 76
番組表の見かたと操作 77
緊急放送を表示する 77
中継局 / 系列局をサーチする 77
地デジの設定をする 78
CD・オーディオファイルディスクを再生する 78
ディスクを入れる / 出す 78
ディスクを入れる 78
ディスクを取り出す 79
ディスクを取り出せないときは 79
画面の見かたと操作 79
DVD を再生する 81
画面の見かたと操作（DVD ビデオ /DVD-VR）..... 81
DVD ビデオを再生する 81
DVD-VR を再生する 82
DVD ディスクメニューを操作する 83
カーソルで操作する 83
ディスクメニューを直接操作する 83
DVD の設定をする 83
USB 機器 /SD カードのファイルを再生する 84
USB 機器を接続する 84
USB 機器を取り外す 84
SD カードを入れる / 出す 84
画面の見かたと操作 85
オーディオファイルの AV 画面 85
ビデオファイルの AV 画面 86
再生リストと再生モードについて 87
カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する 87
カテゴリーデータベースを作成 / 更新する 87
カテゴリーモードで再生する 88
iPod の曲を再生する 89
iPod を接続する 89
iPod を取り外す 89
iPod の接続方法を設定する 89
画面の見かたと操作 90

情報・設定

情報・設定画面について.....91
VICS 情報を見る 91
VICS 情報とは 91
VICS 情報の内容と種類.....91
VICS 情報の提供方法 91
VICS 情報利用上のご注意.....91
地図に表示される VICS 情報.....92
地図表示型（レベル 3）情報の表示 92
緊急情報の割り込み表示.....92
「VICS WIDE」サービスによる
緊急割り込み表示 93
地図上の VICS 情報を見る.....93
簡易図形型（レベル 2）/ 文字型
（レベル 1）情報の割り込み表示 93
ETC2.0 割り込み表示.....94
VICS 図形 / 文字情報を見る 94
FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示.....94
ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示...94
ETC2.0 割り込み情報 95
VICS 局の選局方法を切り替える 95
自動選局に設定する.....95
手動で選局する 95
VICS 情報の表示設定をする 96
地図上の VICS 表示方法を設定する 96
ECO 情報を確認する.....97
ECO 情報を見る 97
詳細情報を見る 97
ECO レシオについて.....97
ナビゲーションの設定をする 98
地図表示を設定する.....100
自車の現在位置を修正する 100
走行軌跡表示を設定する 101
走行軌跡を消去する.....101
地図に表示するランドマークを設定する...101
ルート探索の条件を設定する 102
サウンドの設定をする.....103
スピーカー構成を設定する 103
リスニングを設定する.....104
リスニングポジションを微調整する 105
フロントフォーカスの微調整をする 105
設定した値を初期設定に戻す 105
プリセットイコライザーを設定する.....106
ユーザーイコライザーを設定する 106
調整したイコライザーカーブを保存する...107
音響効果を設定する.....107
ソースの音量レベルを設定する 108
システムの設定をする.....109
車両情報の案内を設定する 110
速度超過アラーム 110
パーキングブレーキアラーム 110
事故 / 故障の通知 111
その他の車両状態の通知.....111
標識検知の表示 111
システムを初期化する.....112
暗証番号を設定する.....112
暗証番号を変更する.....112
暗証番号を解除する.....112
外部機器の設定をする 113
バージョンを確認する.....113
接続状態を確認する.....114
地図更新について.....115

Bluetooth

Bluetooth 機器の登録と設定 116
ステップ 1：Bluetooth 機器側で
登録操作をする 116
ステップ 2：ハンズフリー設定 117
ステップ 3：電話帳の登録 117
オートペアリング機能で登録する 117
Bluetooth の設定をする.....118
Bluetooth 機器を接続する.....119
Bluetooth 機器の接続を解除する 120
登録した機器を削除する.....120
PIN コードを変更する.....121
本機のデバイス名を変更する 121
ハンズフリーを使う.....122
電話メニュー画面を表示する 122
電話メニュー画面の見かたと操作.....122
ハンズフリーで電話を受ける / 切る.....123
プリセットダイヤルを使う 123
プリセットダイヤルから電話をかける.....123
プリセットダイヤルに電話番号を登録する...124
プリセットダイヤルの登録を削除する.....124
履歴から電話をかける.....125
電話帳から電話をかける.....125
PBAP 対応機器の電話帳を登録する.....126
電話帳を削除する 126
ダイヤルして電話をかける 127
地点情報から電話をかける 127

リダイヤルで電話をかける.....127
緊急連絡先に電話をかける.....127
Bluetooth オーディオ機器を再生する...128
画面の見かたと操作.....128

オプション

ETC 車載器 /ETC2.0 車載器を使う...129
ETC 情報について.....129
ETC2.0 情報について.....129
ITS スポットとは.....129
ETC 予告アンテナについて.....129
アップリンクとは.....129
VICS 機能を利用する.....130
ETC に関する設定をする.....130
ETC の接続設定をする.....130
ETC の案内出力を設定する.....130
ETC の料金表示を設定する.....131
ETC 履歴 / 車載器情報を見る.....131
信号情報活用運転支援システム (TSPS) による信号情報案内.....132
信号情報案内利用上のご注意.....132
信号情報案内の設定をする.....132
地図に表示される信号情報案内.....133
バックモニター / パノラマモニターを使う.....134
使用上のご注意.....134
バックモニターの接続を設定する.....134
バックモニター接続設定.....134
バックモニターの映像を表示する.....134
ダイハツ純正 バックモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）...134
ダイハツ純正 3 モードカメラを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）...135
ダイハツ純正 パノラマモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）.....136
ガイド線を調整する.....136
ダイハツ純正 バックモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）.....136
ダイハツ純正 3 モードカメラを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）...137
ダイハツ純正 パノラマモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）.....138
障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）...138
ドライブレコーダーを使う.....139
ドライブレコーダー使用時のお願い.....139
ドライブレコーダーについて.....139
電源について.....139
著作権などについて.....139
免責事項について.....139
ドライブレコーダーで使用できる SD メモリーカード.....140
microSD メモリーカードの取り扱いについて.....140
記録データが保存される階層について...140
ドライブレコーダーの接続設定をする...141
カメラの映像を確認する.....141
ドライブレコーダー映像画面の操作.....142
加速度センサーを最適化する.....142
ドライブレコーダーの設定をする.....143
常時録画（動画）.....144
駐車録画（動画）.....145
手動で動画を録画する.....145
手動で静止画を撮影する.....146
動画・静止画を再生する.....146
動画再生画面の見かたと操作.....147
静止画表示画面の見かたと操作.....147
地図表示モードで再生する.....148
ファイルを保存フォルダへ移動する.....148
ファイルを削除する.....149
後席モニターを使う.....150
後席モニターに表示できる映像について...150

付録

自車位置の測位精度について.....151
地図記号の凡例.....153
地図データベースについて.....155
ソフトウェア使用許諾契約書.....157
VICS について.....159
メディアおよびファイルについて.....161
iPod について.....165
Bluetooth について.....166
故障かなと思ったら.....167
主な仕様.....174
保証とアフターサービス.....175
特許権 / 著作権 / 商標など.....176
索引.....179

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

⚠	注意（しなければならない）の内容です。
⃠	禁止（してはいけない）の内容です。
❗	実行（かならず行っていただく）の内容です。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」（➜ P.167）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、クロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくすると GPS の測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路 * は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地図画面
  - 市街地図を表示しているとき
  - マップマッチングしていないとき
  - 駐停車中

  *：細街路とは、幅員 5.5m 未満の道路のことをいいます。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約 1 時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例:登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
個人情報の消去は、システムを初期化する / 暗証番号を解除する（➜ P.112）で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

＜問い合わせ先＞
JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル　0120-977-846
（ディーラーオプション専用窓口）
FAX　045-450-2308
住所　〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間　月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。
したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

● 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意
本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH：FH-SS 変調方式を表します。
1：電波与干渉距離は 10m です。
□□□：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

● 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

● 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

● 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

メニュー画面の操作

メニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。
メニュー画面は、フロントパネルにある【メニュー】を押すと、いつでも表示できます。

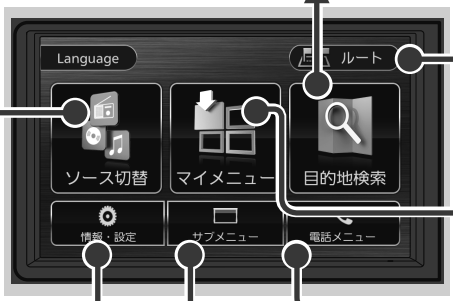
ソース切替画面 (➜ P.70)

AV ソースを切り替える画面を表示します。

目的地検索画面 (➜ P.44)

施設の名称やジャンル、住所など、いろいろな検索方法で行き先を検索できます。

メニュー画面



ルート編集画面を表示します。
(➜ P.62)

マイメニューを表示します。
(➜ P.20)

情報・設定画面 (➜ P.91)

ECO、VICS の情報や、ナビ、システム、サウンドなどを設定します。

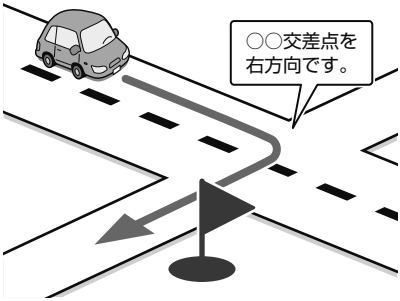
電話メニュー画面 (➜ P.122)

電話（Bluetooth ハンズフリー）メニュー画面を表示します。

サブメニュー (➜ P.23)

画面の明るさ調整や、画面をオフ、ユーザーを切り替えるボタンを表示します。

ナビゲーション機能



■ 目的地検索画面

施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探すことができます。(➜ P.44)

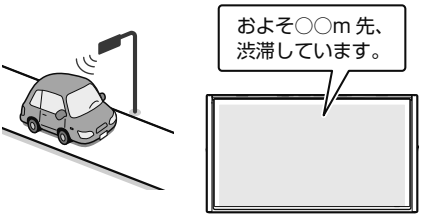
● ルート探索・編集

行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。(➜ P.54)

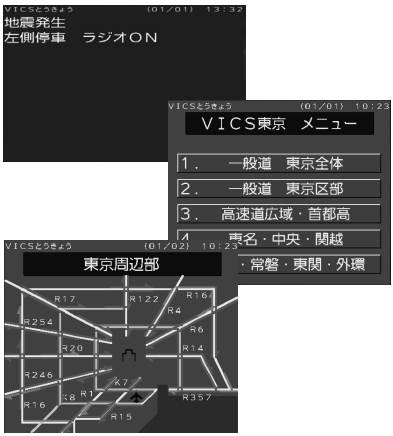
● ルート案内

行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。

ドライブに役立つ交通情報



VICS 情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。(➜ P.91)
また、別売の**ダイハツ純正** ETC 車載器や**ダイハツ純正** ETC2.0 車載器を接続すると、ETC の利用料金をお知らせすることもできます。(➜ P.129)



音楽や映像を楽しむ

いろいろなメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

■ ソース切替画面（➜ P.70）

- iPod
- USB
- SD
- DISC
- 地デジ（NMZK-W70D のみ）
- FM
- AM
- Bluetooth AUDIO
- 交通情報
- スタンバイ

情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、ECO 情報や接続状態を確認できます。
また、本機のさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことができます。

■ 情報・設定画面（➜ P.91）

- **ナビゲーション設定**
  地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。（➜ P.98）
- **サウンド設定**
  車内の音響効果や音質などを設定します。（➜ P.103）
- **システム設定**
  車両やシステム全般の設定を行います。（➜ P.109）
- **外部機器設定**
  Bluetooth、外部機器などの接続設定を行います。（➜ P.113）
- **登録地点編集**
  登録した地点の名称や電話番号などを編集します。（➜ P.68）

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。（➜ P.6）
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。（➜ P.16）
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。（➜ P.34）
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）の操作方法について説明しています。（➜ P.70）
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。（➜ P.91）
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作方法について説明しています。（➜ P.116）
オプション	ETC 車載器やバックモニター / パノラマモニターなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。（➜ P.129）
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。（➜ P.151）

● 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。

本書の表記

ハードキー名：
本書ではハードキーを次のように表記しています。

メニュー → 【メニュー】

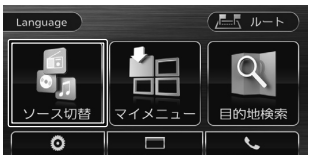
インデックス
章の内容を示すインデックスです。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【メニュー】を押して［ソース切替］にタッチする



ボタン名：
本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。

→ ［ソース切替］

文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを AM または FM に切り替える（➜ P.70）

ここまでの手順：
下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

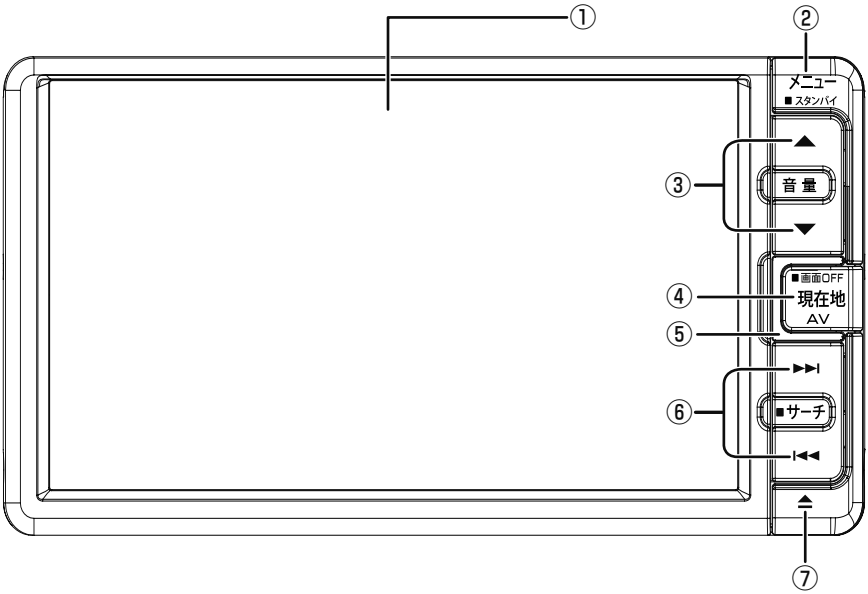
参照ページ：
参照ページのページ番号です。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

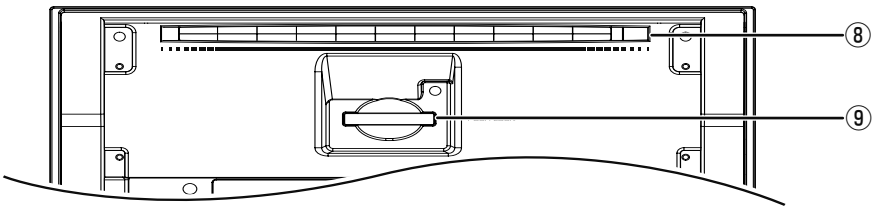
補足：
手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

※ 上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なります。

各部の名称とはたらき



パネルオープン時



① **画面**

② **【メニュー】**
メニュー画面を表示します。(➜ P.11)
押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。

③ **【▲/▼】**
- AV の音量を調整 (0 ～ 40) します。
- ハンズフリー通話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ～ 40) します。
- ナビゲーションの音声案内中は、案内音量を調整 (1 ～ 40) します。

- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ハンズフリー通話の音量は、外部機器設定でも調整できます。(➜ P.118)
- 案内音量は、ナビ設定でも調整できます。(➜ P.98)
- 音量キーでハンズフリー通話の音量および案内音量の調整をできないようにも設定できます。(➜ P.118)

④ **【現在地 /AV】**
- 現在地図画面を表示します。(➜ P.34)
- 現在地図画面表示中に押すと選択しているソースの AV 画面を表示します。
- 押し続けると、画面の表示がオフになります。(➜ P.24)

⑤ **セキュリティインジケーター**
セキュリティインジケーターを ON に設定している場合、電源オフ時に点滅します。
(➜ P.109)

⑥ **【⏮/⏭】**
- FM/AM/ 地デジ：
放送局を切り替えます。
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽 / ビデオ再生：
前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早戻し / 早送りします。

⑦ **【⏏】(オープンキー)**
フロントパネルの角度調整（➜ P.18）やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。(➜ P.78、P.84)

⑧ **ディスク挿入口**
ディスクを挿入する場所です。

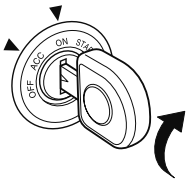
⑨ **SD カード挿入口**
SD カードを挿入する場所です。

基本操作

電源を入れる / 切る

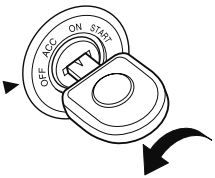
電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。



電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



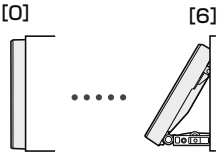
- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などは、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

■ リモコンスターターミュート機能について

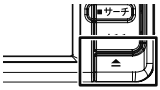
リモコンスターター装着時は、リモコンスターターで本機の電源をオンにすると本機の音量をミュートします。（車両により対応していない場合があります）

フロントパネルの角度を調整する

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度を調整できます。
角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。



1 【⏏】（オープンキー）を押す



2 チルト [0] ～ [6] にタッチする

- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角（[－ 3] ～ [0]）にタッチして調整します。マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

本機の画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

［戻る］にタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

■ リストの操作

リストでは、上下にスクロールして見たい項目を表示します。
リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

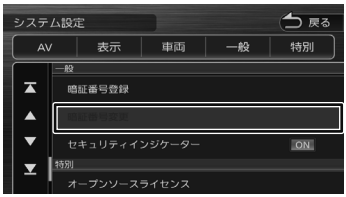
- **スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。**
  ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。
  フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。

- **リストをページ送りする。**
  送りたい方向の ▲ または ▼ にタッチします。

▲ または ▼ にタッチするとリストの最初または最後を表示します。

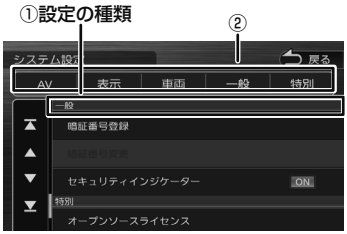
■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。



■ 設定画面

設定画面は、設定の種類ごとにまとめてリストで表示されます。
リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目にタッチして決定します。
②にタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。



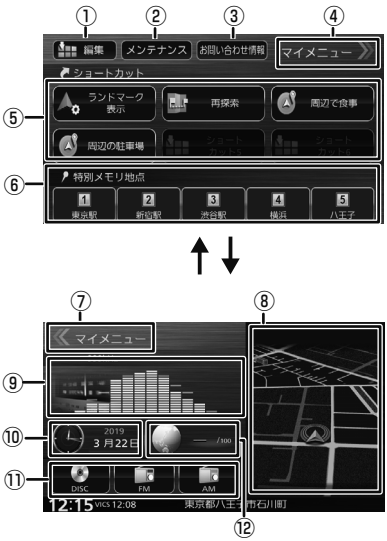
マイメニューを使う

マイメニューでは、よく使う AV ソースや機能のショートカットボタンへの割り当て、エンジンオイルなどの車両メンテナンス情報の設定、お買い上げになった販売店、保険会社の登録などができます。また、特別メモリ地点 1 ～ 5 に登録済みの地点名称を表示します。

マイメニューを表示する

1 【メニュー】を押して [マイメニュー] にタッチする

マイメニューが表示されます。
マイメニューは２画面あります。
④［マイメニュー＞＞］と⑦［＜＜マイメニュー］で切り替えます。



① ⑤、⑥、⑪を編集する画面を表示します。
② 車両メンテナンス情報の設定画面を表示します。
③ 販売店や保険会社などの情報を表示 / 編集できます。
④ マイメニュー画面を切り替えます。
⑤ 機能ショートカットボタン
⑥ 特別メモリ地点ボタン
⑦ マイメニュー画面を切り替えます。
⑧ 現在地図を表示します。ルート案内中は次の案内ポイントまでの距離も表示されます。
⑨ 選択しているソースの AV 画面を表示します。
⑩ 日付と時刻を表示します。タッチすると１ヶ月分のカレンダーを表示します。
⑪ よく使う AV ソースを３つまで割り当てることができます。
⑫ ECO 情報を表示します。ルート案内中にタッチすると目的地までの時間と距離が表示されます。

ショートカットキーを割り当てる

本機の機能または AV ソースをそれぞれのショートカットボタンに割り当てます。

1 [編集] にタッチする

2 機能または AV ソースを割り当てるボタンにタッチする

3 リストから機能または AV ソースを選ぶ

特別メモリ地点の編集をする

1 [編集] にタッチする

2 編集する特別メモリ地点のボタンにタッチする

3 地点を編集する

地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

編集については 68 ページをご覧ください。

車両メンテナンス情報を設定する

1 [メンテナンス] にタッチする

2 設定する項目にタッチする

3 各項目の設定をする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/OFF*	以下の設定した項目をお知らせするかしないかを設定します。
通知年月日	年月日 / 未設定 *	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし */ 3 日前から / 7 日前から	お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	*** km/ 未設定 *	何 km 走行したらお知らせするかを設定します。
通知まであと	お知らせするまでの残りの距離を表示します。	
メンテナンス名称	「お好み 1」、「お好み 2」でお知らせする名称を設定します。 文字入力については 26 ページをご覧ください。	
設定消去	設定内容を消去します。タッチするとメッセージが表示されます。[はい] にタッチすると設定を消去します。	

*：お買い上げ時の設定です。

- [通知開始距離] は「バッテリー交換」、「お好み 1」、「お好み 2」では設定できません。
- [通知まであと] は「バッテリー交換」、「お好み 1」、「お好み 2」では表示されません。
- [メンテナンス名称] は「お好み 1」、「お好み 2」のみ設定できます。
- 設定した日、距離などになると本機を起動したときに画面でお知らせします。
  ※ 表示された画面の [今後表示しない] をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。([お知らせ設定] は OFF になります)
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず [設定消去] をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPS からの日付情報と車速信号を使用します。

お問い合わせ情報を表示 / 編集する

1 [お問い合わせ情報] にタッチする

問い合わせ情報が表示されます。

項目	説明
現在地 マップコード	現在地の住所とマップコードを表示します。
販売店名	お買い上げの販売店名を表示 / 編集します。
販売店連絡先	お買い上げの販売店の電話番号を表示 / 編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、 にタッチすると登録している電話番号に発信します。
担当者名	お買い上げの販売店の担当者名を表示 / 編集します。
ロードサービス連絡先	ロードサービスの電話番号を表示 / 編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、 にタッチすると登録している電話番号に発信します。
コールセンター連絡先	コールセンターの電話番号を表示 / 編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、 にタッチすると登録している電話番号に発信します。
保険会社名	保険会社名を表示 / 編集します。
保険会社 連絡先	保険会社の電話番号を表示 / 編集します。 ハンズフリー通話機器が接続されている場合は、 にタッチすると登録している電話番号に発信します。

2 編集する項目にタッチする

● 名称を編集する
販売店名、担当者名、保険会社名欄にタッチして名前を入力して［決定］にタッチします。

● 電話番号を登録および変更する
電話番号欄にタッチして電話番号を入力して［決定］にタッチします。

- 文字の入力方法については 26 ページをご覧ください。
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「－」は省略することもできます。

サブメニューを使う

画面の明るさ、画面表示のオフやユーザー切り替え操作ができます。

サブメニューを表示する

1 【メニュー】を押して [サブメニュー] にタッチする

サブメニューが表示されます。

ユーザーを切り替える

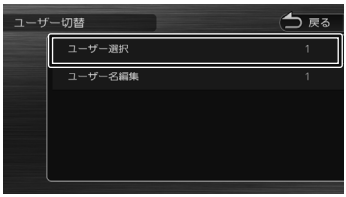
本機は2ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。

切り替わる項目

- 音量設定（音声案内、着信、受話、Bluetooth の音質調整のマイクゲイン）
- 地図表示の設定（コンパス、縮尺、ランドマーク）
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルートアジャスター
- 目的地検索画面とソース切替画面のボタンサイズ設定

1 ［ユーザー］にタッチする

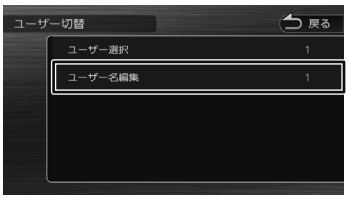
2 ［ユーザー選択］にタッチしてユーザーを選ぶ



選択したユーザーの設定に切り替わります。
設定を変えると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

■ ユーザー名を編集する

1 ［ユーザー名編集］にタッチする



2 名前を編集する

この画面でユーザーの名称を編集することができます。

- 文字の入力方法については 26 ページをご覧ください。

画面オフ

本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

1 ［画面オフ］にタッチする

画面が消えます。

■ 画面表示を戻すには

1 画面にタッチする

- 【現在地 / ＡＶ】を押し続けても画面をオフにできます。
- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフにしても、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- バックモニター / パノラマモニターが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、バックモニター / パノラマモニターの画面が表示されます。
- 画面オフのときに時計を表示しないようにすることもできます。（➜ P.109）

画面の明るさ

本機の画面の明るさ（－４～+4）を調整します。

1 ⊖ または ⊕ にタッチする

- DVD ビデオや地上デジタル TV 放送の映像の明るさは、AV 画面の［映像調整］の「ブライトネス」で調整します。（➜ P.71）

画面のボタンサイズを変更する

目的地検索画面とソース切替画面のボタンサイズを変更（大 / 小）することができます。
ボタンサイズを「大」に変更すると、各ボタンの位置を入れ替えることもできます。
（➜ P.25）

1 ［メニュー］を押して［目的地検索］または［ソース切替］にタッチする

ここでは目的地検索画面で説明します。

2 ［ボタンサイズ］にタッチする

タッチするたびにボタンサイズが変更されます。

ボタンサイズ「小」画面

ボタンサイズ「大」画面

ボタンサイズを「大」に変更したときに表示されないボタンは、[>] にタッチすると表示されます。元の画面に戻りたい場合は [<] にタッチします。

ボタンの位置を入れ替える

目的地検索画面とソース切替画面のボタンサイズを「大」にしているときは、ボタンの位置を入れ替えることができます。

例：目的地検索画面の［名称］の位置を［住所］に変更する場合

1 ［機能編集］にタッチする

2 変更したいボタンにタッチする

ここでは［名称］にタッチします。

3 入れ替える項目にタッチする

ここでは［住所］にタッチします。

選択した項目が入れ替わります。

- 目的地検索画面の［マップコード］［郵便番号］、およびソース切替画面の［スタンバイ］［交通情報］は位置を変更できません。

入れ替えたボタンを初期化する

ボタンの表示位置をお買い上げ時の状態に戻します。

1 ［機能編集］にタッチする

2 ［初期化］にタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］にタッチする

文字入力のしかた

- ◀ または ▶ にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して BS にタッチすると文字を消すことができます。
- BS にタッチし続けると、入力した文字列が全消去されます。

入力方法を切り替える

文字の入力方法をキーボードのような入力パレットと携帯電話のようなトグル入力に切り替えます。

1 ［入力切替］にタッチする

文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類にタッチする

［切替］：
タッチするたびに、かな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数字 / 記号に切り替わります。

［小文字］：
小文字に切り替わります。

［半角］：
半角英数文字または半角記号に切り替わります。

入力パレットで文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする

2 変換する場合は、［変換］にタッチする

［無変換］：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 ［決定］にタッチする

トグル入力で文字を入力する

1 文字を選んでタッチする

例：「い」を入力する場合
［あ］を２回タッチします。

例：「あい」を入力する場合
［あ］をタッチし、［送り］にタッチした後、［あ］を２回タッチします。

2 変換する場合は、［変換］にタッチする

［無変換］：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 ［決定］にタッチする

ステアリングスイッチを使う

ステアリングスイッチの設定について

ステアリングスイッチを装備している車両は、ステアリングスイッチから本機を操作することができます。(と ＊キーは車両により対応していない場合があります)
お買い上げ時は「ステアリングスイッチ」の設定（➜ P.29）は、［ON］に設定されており下表の機能が設定されています。
お買い上げ時のままご使用になる場合は、ステアリングスイッチの設定は不要です。

キー	説明
/	• AV の音量を調整 (0 ～ 40) します。 • ハンズフリー通話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ～ 40) します。 • ナビゲーションの音声案内中は、案内音量を調整 (1 ～ 40) します。
< / >	• FM/AM、地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 • 音楽 / ビデオ再生： 前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると､早戻し / 早送りします。
MODE	AV ソースを切り替えます。 ディスクが挿入されていない場合や機器が接続されていないなど、選択できないソースはスキップされます。 押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。もう一度押すと元のソースに戻ります。
	ハンズフリーの電話を受け付けます。 通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
＊	AV ソースの音量を一定量下げます。 もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 音量を上げるキーを押し続けると連続して音量値が 15 まで上がります。
- キーの記号は変更されることがあります。

お買い上げ時の設定では、＊キーのみ割り当てる機能を変更することができます。
また、ステアリングスイッチに独自に機能を割り当てることもできます。独自の機能を割り当てるには 30 ページをご覧ください。

＊キーに機能を割り当てる

お買い上げ時の設定では、＊キーに割り当てる機能を変更することができます。（車両により対応していない場合があります）

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする

2 「車両」の［ステアリング＊スイッチ設定］にタッチする

3 割り当てる機能にタッチする

＊キーに割り当てられる機能は以下になります。

項目	機能
未設定	設定しません。
メニュー	メニュー画面を表示します。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。
現在地 /AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すと AV 画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
AV	AV 画面を表示します。
MODE	押すごとに AV ソースが切り替わります。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。

項目	機能
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOL▲ VOL▼	• AVの音量を調整 (0～40) します。 • ハンズフリー通話中の音量 (0 ～ 40) を調整します。 • ナビゲーションの音声案内中の案内音量を調整 (1 ～ 40) します。
/	• FM/AM/ 地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 • 音楽 / ビデオ再生： 前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早戻し / 早送りします。
詳細	詳細な地図を表示します。 (地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。 (地図画面表示中)
	ハンズフリーの電話を受けます。 (Bluetooth 接続中)
	ハンズフリーの電話を切ります。 (Bluetooth 接続中) 着信時に押すと着信拒否します。
/	ハンズフリーの電話を受けます。 着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
/	ミュートします。もう一度押すとミュートを解除します。 ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
カメラ	パノラマモニターが接続されているときに、約 10km/h 以下で走行中に押すとパノラマモニターの映像に切り替わり、約 10km/h 以上で走行中に押すとサイドの映像に切り替わります。

ステアリングスイッチの設定をする

ステアリングスイッチに独自に機能を割り当てる、またはステアリングスイッチを使用しない場合の設定を行います。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする

2 「車両」の［ステアリングスイッチ］にタッチする

3 設定する項目にタッチする

[OFF]
ステアリングスイッチを使用しないときにタッチします。

[ON]
ステアリングスイッチをお買い上げ時のまま（➜ P.28）使用する場合にタッチします。

[ON(ユーザー学習)]：
独自にステアリングスイッチのキーに機能を割り当てることができます。操作については 30 ページをご覧ください。

独自に機能を割り当てる

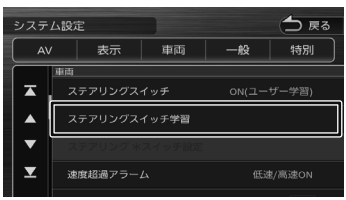
- ステアリングスイッチのキー割り当てが完了した後で、キーを追加することはできません。追加したい場合は学習の初期化を行い、再度キーの割り当てを行ってください。
- 手順3で［ON(ユーザー学習)］にタッチした時点ですべてのキーの機能が消去されます。手順３～５を繰り返してそれぞれのキーの割り当てを行ってください。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする

2 「車両」の［ステアリングスイッチ］にタッチする

3 ［ON(ユーザー学習)］にタッチする

4 「車両」の［ステアリングスイッチ学習］にタッチする



ステアリングスイッチ学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ステアリングスイッチは押さないでください。

5 機能を割り当てるステアリングスイッチのキーを２秒以上押す

6 割り当てる機能にタッチする

割り当てた機能が表示されます。
さらに機能を割り当てる場合は、手順５と６を繰り返します。

7 ［学習完了］にタッチする

■ キーに割り当てられる機能

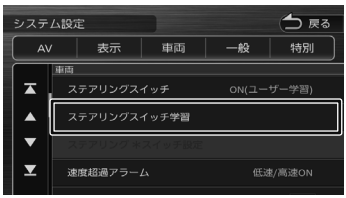
項目	機能
未設定	設定しません。
メニュー	メニュー画面を表示します。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。
現在地 /AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すと AV 画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
AV	AV 画面を表示します。

項目	機能
MODE	押すごとに AV ソースが切り替わります。押し続けると、ソースがオフ（スタンバイ）になります。
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOL▲ VOL▼	・AVの音量を調整 (0～40) します。 ・ハンズフリー通話中の音量 (0 ～ 40) を調整します。 ・ナビゲーションの音声案内中の案内音量を調整 (1 ～ 40) します。
/	・FM/AM/ 地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 ・音楽 / ビデオ再生： 前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早戻し / 早送りします。
詳細	詳細な地図を表示します。 (地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。 (地図画面表示中)
	ハンズフリーの電話を受けます。 (Bluetooth 接続中)
	ハンズフリーの電話を切ります。 (Bluetooth 接続中) 着信時に押すと着信拒否します。
/	ハンズフリーの電話を受けます。 着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
/	ミュートします。もう一度押すとミュートを解除します。 ハンズフリーの着信中は通話を開始します。
カメラ	パノラマモニターが接続されているときに、約 10km/h 以下で走行中に押すとパノラマモニターの映像に切り替わり、約 10km/h 以上で走行中に押すとサイドの映像に切り替わります。

■ ステアリングスイッチキーの割り当てを変更 / 初期化する

独自に割り当てたステアリングスイッチのキーの変更や消去、初期化ができます。初期化は手順2で［学習初期化］にタッチしてください。

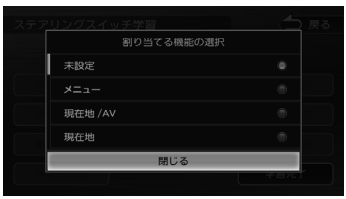
1 「車両」の［ステアリングスイッチ学習］にタッチする



2 割り当てを変更するボタンにタッチする

［学習初期化］：
ステアリングスイッチに割り当てたキーの機能をすべて消去します。

3 割り当てる機能にタッチする



［未設定］：
キーに割り当てられた機能を消去します。

4 ［変更完了］にタッチする

表示言語を切り替える

本機のメニュー、地図の表示言語と音声案内の発話言語を切り替えます。

1 【メニュー】を押して [Language] にタッチする

2 変更したい言語にタッチする

ナビデータを消去する

検索履歴、ルート情報（目的地 / 経由地 / ルート）、走行軌跡を消去します。

1 【メニュー】を押して [Language] にタッチする

2 [ナビデータ消去] をタッチする

メッセージが表示されます。

3 [はい] にタッチする

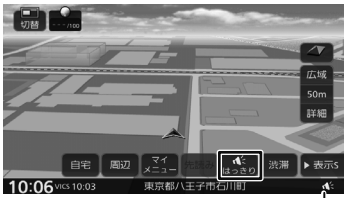
はっきり音声機能を使う

はっきり音声機能をオンにすると、ラジオのニュースや野球中継などの声の周波数が調整され、聞き取りやすくなります。
はっきり音声機能は、FM、AM、交通情報、地デジ、ハンズフリー通話で使うことができます。
AV 画面と地図画面では、はっきり音声機能がオンのときは画面下部にアイコンが表示されます。

AV 画面（FM、AM、交通情報、地デジ）

アイコン

地図画面



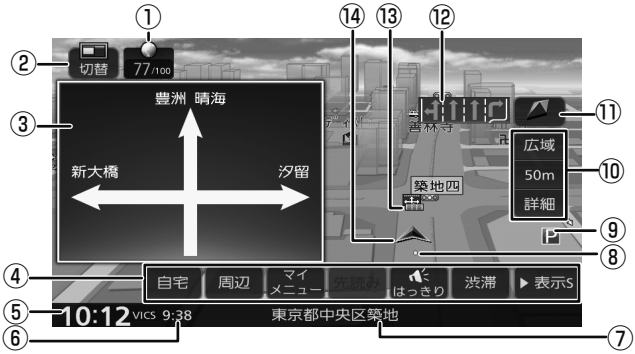
アイコン

ハンズフリー通話中

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときにフロントパネルの【現在地 /AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① **エコ情報**
エコ情報が点数で表示されます。

② **[切替]**
タッチすると 2 画面表示の設定画面が表示されます。（➜ P.37）

③ **方面看板**
方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。

④ **ショートカットボタン**
タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。ボタンの表示する数は「表示 S」と「表示 L」で異なります。詳細は 39 ページをご覧ください。

⑤ **時計**
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。
本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑥ **VICS 情報提供時刻**
VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑦ **現在地情報**
現在の自車位置の情報が表示されます。

⑧ **走行軌跡**
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示をしないように設定できます。（➜ P.101）
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。（➜ P.101）

⑨ **ランドマーク**
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。

⑩ **[広域] / [詳細]**
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。（➜ P.35）
ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。
縮尺表示にタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。
（➜ P.35）

⑪ **（コンパスボタン）**
地図の方位が表示されます。
タッチすると、地図の向きを切り替えることができます。（➜ P.36）

⑫ **レーン情報**
次の交差点のレーン情報が表示されます。

⑬ **案内地点**
：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。

⑭ **自車マーク**

- 細街路（幅員 5.5 m 未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図（P.36）の表示中は、常に細街路が表示されます。
- ③、⑫は表示しないように設定できます。（➜ P.99）

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンにタッチする

施設名と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

さらに詳細な情報を見るには、［詳細］にタッチします。詳細情報については、39 ページをご覧ください。

- 複数のランドマークが重なっている場合は、[切替] にタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。
- 地図の向きが 3D ビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

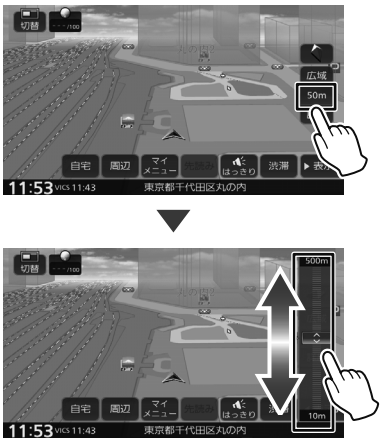
地図の縮尺を変える

1 ［広域］または［詳細］にタッチする

それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

■ スライダーバーで縮尺を変える

1 縮尺表示にタッチして、タッチしたままスライダーバーを上下にドラッグする



市街地図について

市街地図は、100m以下のスケールで表示されます。ナビ設定の「市街地図の表示縮尺」を「50m以下」にすると、50m以下のスケールで表示できます。設定については98ページをご覧ください。

- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面（➜ P.37）で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更はできません。

地図の向きと2D/3D表示を切り替える

地図の表示方法（向き、2D/3D表示）を切り替えることができます。表示方法は「3Dビュー」、「2Dノースアップ」、「2Dヘディングアップ」の3つがあります。

1 地図画面のコンパスボタンにタッチする

タッチするごとに地図の表示方法が切り替わります。

（3Dビュー）

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D地図が表示されます。
市街地図（➜ P.36）では、スケールを50m以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル3Dマップが表示されます。

（2Dノースアップ）

地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

（2Dヘディングアップ）

進行方向が画面の上方向になるように表示されます。

- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。（➜ P.98）
- 地域によっては、バーチャル3Dマップを表示できない場所があります。

地図を 2 画面表示する

現在地図画面の上に、現在地図画面または AV 簡易画面を表示できます。

1 地図画面の [切替] にタッチする

2 表示したい方法にタッチする

[地図]

現在地図を 1 画面表示します。

[地図 & 地図中]

現在地図を2画面表示します。

[地図 &AV 中]

現在地図の上に、選択している AV ソースの簡易画面を表示します。

- 地図 2 画面表示中も、背景の現在地図画面は、地図の縮尺の変更やスクロールなどの操作ができます。
- 上に表示される地図は、スクロールできません。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。

■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。

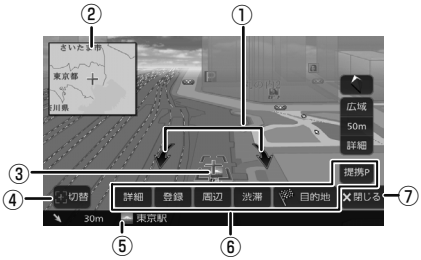
■ ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

スクロールした後に【現在地 /AV】を押すと、現在地図画面に戻ります。

- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロールしたときの地図表示



① **地図回転ボタン：**
3D ビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

② **フライビューマップ：**
スクロールした地点を広域地図で表示します。フライビューマップは表示しないようにすることもできます。（➜ P.98）

③ **（カーソル）：**
地図画面の中心点に表示されます。

④ **[切替]：**
同じ地点に複数の地点情報があるとタッチできます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑤ **地点情報：**
カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

⑥ **[提携 P]：**
カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

[目的地] / [経由地]（経由地は目的地設定済み時のみ）**：**
この地点を目的地 / 経由地に設定します。

[渋滞]：
VICS 情報画面が表示されます。

[周辺]：
周辺の施設を検索します。

[登録]：
この地点を登録します。

[詳細]：
地点詳細情報画面を表示します。
スマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。詳しくは、「マップクリップを利用する」（➜ P.39）をご覧ください。

⑦ **[閉じる]：**
⑥の表示を消します。

- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

マップクリップを利用する

マップクリップは、QR コード（2 次元バーコード）に変換した地点情報を、スマートフォンで読み取って地図を表示するサービスです。

- スマートフォンに表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することができます。
- 地図を表示するには QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 地図の縮尺変更や移動は無料です。（通信料、パケット料はお客様負担となります。）
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

1 地点詳細情報画面を表示したい地点を表示して、［詳細］にタッチする

2 QR コードを表示して、スマートフォンで読み取る

（地点地図）：
カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

（地点地図＋現在地）：
カーソルのある地点と現在地からのルート情報を QR コードで表示します。

（地点地図＋目的地）：
カーソルのある地点と目的地からのルート情報を QR コードで表示します。

▼

MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されます。ショートカットボタンは「S」と「L」があります。

■ ショートカット S 表示時

① ［先読み］：
目的地を設定しているときにタッチできます。タッチすると、案内先読みガイドを表示します。（➜ P.59）

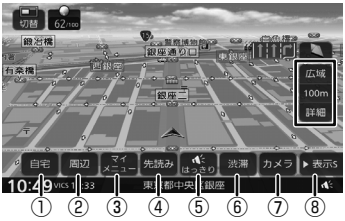
［カメラ］：
「バックモニター機能」が ON に設定されていて、ダイハツ純正 パノラマモニターが接続されているときに表示されます。約 10km/h 以下で走行中にタッチするとパノラマモニターの映像に切り替わり、約 10km/h 以上で走行中にタッチするとサイドの映像に切り替わります。
（➜ P.134、P.136）

② ［はっきり］：
ソースが FM、AM、地デジ、交通情報のときと、ハンズフリー通話中にタッチしてはっきり音声機能をオンにすると音声が聞き取りやすくなります。
はっきり音声機能がオンのときは画面下部にアイコンが表示されます。

③ ［渋滞］：
VICS 情報画面が表示されます。

④ ［ 表示 L ］：
ショートカット L ボタンを表示します。
（➜ P.40）

■ ショートカットＬ表示時



① **[自宅]：**
自宅へ帰るルートを探索します。(➜ P.43)
自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。

② **[周辺]：**
現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。検索した施設を目的地に設定することもできます。

③ **[マイメニュー]：**
マイメニューを表示します。(➜ P.20)

④ **[先読み]：**
目的地を設定しているときにタッチできます。タッチすると、案内先読みガイドを表示します。(➜ P.59)

⑤ **[はっきり]：**
ソースが FM、AM、地デジ、交通情報のときと、ハンズフリー通話中にタッチしてはっきり音声機能をオンにすると、音声が聞き取りやすくなります。
はっきり音声機能がオンのときは画面下部にアイコンが表示されます。

⑥ **[渋滞]：**
VICS 情報画面が表示されます。

⑦ **[カメラ]：**
「バックモニター機能」が ON に設定されていて、ダイハツ純正 パノラマモニターが接続されているときに表示されます。約 10km/h 以下で走行中にタッチするとパノラマモニターの映像に切り替わり、約 10km/h 以上で走行中にタッチするとサイドの映像に切り替わります。
(➜ P.134、P.136)

⑧ **[表示 S]：**
ショートカット S ボタンを表示します。

周辺検索と周辺情報を取得する

現在地の周辺の施設を検索します。

1 ［表示 L］にタッチして［周辺］ボタンを表示する

2 ［周辺］にタッチする

検索したいジャンルにタッチしてください。
ジャンルを絞り込んだ後の操作は、47 ページの手順 4 からご覧ください。

ナビゲーションの流れ

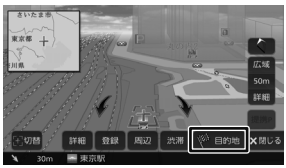
① 行き先を探す

目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(➜ P.44)

地図画面から

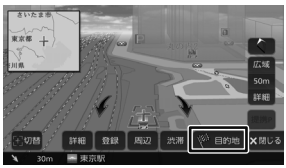
地図をスクロールして行きたい場所を探し(➜ P.37)、［目的地］にタッチします。



② 行き先に設定する

［目的地］にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(➜ P.54)



・ 経由地は、目的地を設定した後に設定できます。(➜ P.62)

③ ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(➜ P.62)

［推奨］/［距離］/［高速］/［一般］/［高速 / 距離］：
指定した条件でルートを探索します。(➜ P.54)

［ルート情報］：
選択したルートの情報を確認します。(➜ P.65)

入神田橋 / 出八王子 ：
利用するインターチェンジを変更します。(➜ P.64)
有料道路を使用するときに表示されます。

④ 案内を開始する

［案内開始］にタッチする

ルート案内がはじまります。

ルート案内を開始した後は

- **経由地の設定・入れ替え**
  途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(➜ P.62)
- **案内終了**
  ルート案内を中止します。(➜ P.66)

自宅を登録する / 自宅に帰る

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。

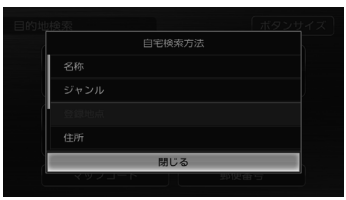
1 【メニュー】を押して [目的地検索] にタッチする

2 ［自宅］にタッチする

確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］にタッチする

4 自宅の検索方法にタッチする



ここでは住所で説明します。

住所以外の検索方法については 44 ページをご覧ください。

5 画面に従って自宅の住所を入力する

6 ［自宅に設定する］にタッチする

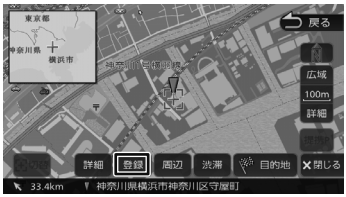
7 ［決定］にタッチする

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 26 ページをご覧ください。

- 自宅の名称と電話番号は、後からでも編集・登録することができます。(➜ P.68)
- 自宅を登録していない場合は、現在地図画面の［自宅］からも登録することができます。(➜ P.40)

自宅を変更する

1 新しく自宅に登録する地点を検索して [登録] にタッチする



2 ［自宅］にタッチする

確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］にタッチする

4 ［決定］にタッチする

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 26 ページをご覧ください。

- 先に自宅として登録されていた地点は、［未分類］グループに変更されます。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 ［表示 L］にタッチして［自宅］ボタンを表示する

2 ［自宅］にタッチする

確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］にタッチする

4 探索条件にタッチして［案内開始］にタッチする

自宅へのルート案内が開始されます。
(➜ P.54)

- 目的地検索画面の [自宅] にタッチして、ルート案内を開始することもできます。(➜ P.44)

行き先を探す

本機の「目的地検索」画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

名称：
施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。（➜ P.44）

ジャンル：
食事や買い物など、ジャンルで行き先を探します。（➜ P.47）

登録地点：
本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（➜ P.48）

自宅：
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。（➜ P.43）自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。登録方法については42 ページをご覧ください。

住所：
住所から目的地を探します。（➜ P.48）

履歴：
いままでにルートを探索した行き先から探します。（➜ P.49）

電話番号：
電話番号を入力して行き先を探します。（➜ P.50）

マップコード：
マップコードを入力して行き先を探します。（➜ P.50）

郵便番号：
郵便番号を入力して行き先を探します。（➜ P.50）

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 ［名称］にタッチする

2 施設の名前を入力して、［検索］にタッチする

- 施設名の入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が 5 件以下になると、自動的に手順 3 の画面が表示されます。

3 行き先にタッチする

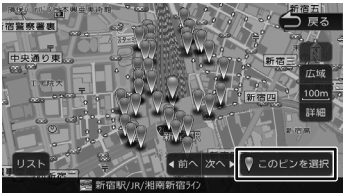
［ジャンルで絞り込む］：
さらにジャンルで絞り込みます。（➜ P.46）

［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。（➜ P.45）

［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［このピンを選択］にタッチする



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

- ピンは手順３で指定した行き先を含めて 50 件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ] または [次へ] にタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 検索結果画面（44 ページの手順 3）で［エリア指定］にタッチする

2 指定したい項目にタッチする

［地域を指定］：
地域（都道府県から）を入力して検索します。

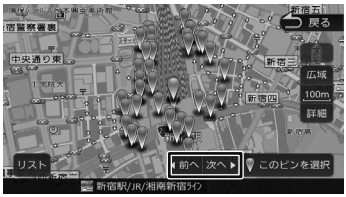
［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［現在地周辺］/［目的地周辺］/
［経由地（1 ～ 5）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

3 ［前へ］/［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

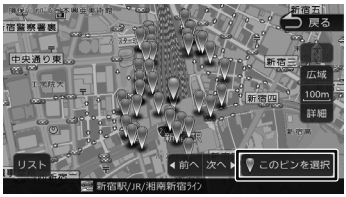
施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 4 に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 ［このピンを選択］にタッチする



▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

- 手順２の［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 5）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 検索結果画面(44 ページの手順 3)で［ジャンルで絞り込む］にタッチする

2 ジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択ジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ

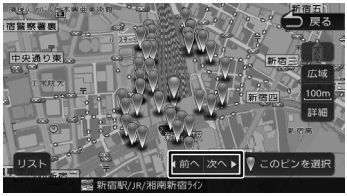
［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。
（➜ P.45）

［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［前へ］/［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

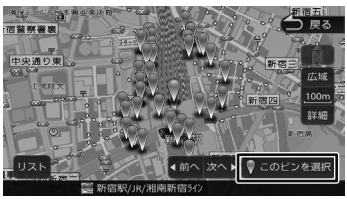
［前へ］/［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］にタッチする



▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。

1 ［ジャンル］にタッチする

2 目的のジャンルにタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したい項目にタッチする

［地域を指定］：
地域（都道府県から）を入力して検索します。

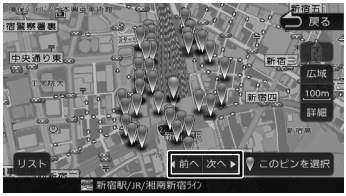
［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［ルート周辺］：
ルート前方にある施設を表示します。

［現在地周辺］／［目的地周辺］／［経由地（1 ～ 5）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 ［前へ］／［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

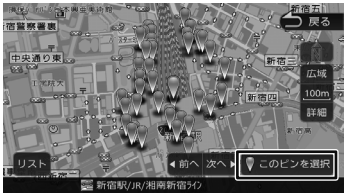
［前へ］／［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が 1 件のときは、［前へ］／［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］にタッチする



［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

- 手順3の［ルート周辺］は現在地周辺の半径 10km 以内でルート前方両側にある施設を検索します。(最大 50 件）その他は指定した地点を中心とした半径 50km 以内で検索します。(最大 50 件)
- ［ルート周辺］検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の［目的地周辺］／［ルート周辺］／［経由地（1 ～5）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は 67 ページをご覧ください。
- 登録地点の編集については、68 ページをご覧ください。

1 ［登録地点］にタッチする

2 グループにタッチする

3 登録地点にタッチする

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 ［住所］にタッチする

2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ

リストの最初に現在地周辺の都道府県が４つまで表示されています。

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-”でつないで一度に入力することができます。
- ［あ］～［わ］にタッチすると都道府県名、市区町村名、地名を頭出しします。
- ［代表地点］にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 ［履歴］にタッチする

2 目的の履歴地点にタッチする

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。

- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で［削除］にタッチする

2 削除する履歴地点にタッチする

履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックがつきます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 ［削除］にタッチして、［はい］にタッチする

電話番号・郵便番号・マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードの番号から行き先を探します。

1 ［電話番号］、「郵便番号」または［マップコード］にタッチする

2 番号を入力して［検索］にタッチする

電話番号、郵便番号のハイフンは入力しません。

BS ：
カーソルの前にある文字を消去します。

▼

［目的地］にタッチすると、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。［検索］にタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して［検索］にタッチします。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ（http://www.e-mapcode.com/）をご覧ください。

NaviCon で探す

「NaviCon」では、地点や店舗などを検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することもできます。
「NaviCon」について詳細は、
https://navicon.com/user/support/ をご覧ください。
「NaviCon」はスマートフォン向けアプリケーションです。

- 「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

本機とスマートフォンを接続する

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。
接続ケーブルは iPhone に付属の接続ケーブルを使用します。89 ページの「iPod を接続する」をご覧ください。
Bluetooth で接続することもできます。
Bluetooth 接続には設定が必要です。
116 ページをご覧ください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。（➜ P.116）

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。
なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。

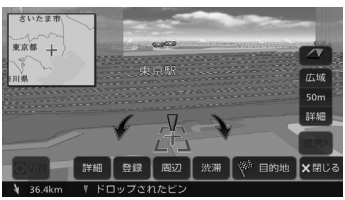
1 「NaviCon」を起動する

2 「NaviCon」から本機に地点情報を転送する

転送方法については「NaviCon」のアプリの説明をご覧ください。

▼

転送された場所が本機に表示されます。



▼

案内を開始するには 54 ページをご覧ください。

NaviCon 友達マップ機能を使う

友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。友達の位置を目的地に設定することもできます。

■ ナビの友達マップ機能を ON にする

1 本機にスマートフォンを接続する

2 スマートフォンの「NaviCon」を起動する

3 スマートフォンの「NaviCon」の友達マップ機能をオンにする

4 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする

5 「その他」の [NaviCon 友達マップ] にタッチする

6 [NaviCon 友達マップ表示] にタッチして ON にする

[OFF]:
友達マップ機能をオフにします。

▼

現在地図画面を表示すると友達アイコンが表示されます。

- ナビの友達マップ機能をオンに設定しても他のデバイスを接続したときは、設定がオフになります。設定をオンにしたときと違う機器を使用する場合は設定をオンにし直してください。

■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。

友達アイコン

緑色：友達の NaviCon と通信できています。
灰色：友達の NaviCon が通信できません。
最後に通信できた場所を表示しています。

本機との接続状態表示アイコン

緑色：友達マップ機能が "ON" になっています。

黄色：友達マップ機能は ON になっているが通信エラーが発生しています。

表示なし：友達マップ機能が "OFF" になっています。

- 友達アイコンには、NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。
- 友達アイコンは 2.5km 以下のスケールで表示されます。

■ 友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示することができます。

1 NaviCon 友達マップ画面を表示して [NaviCon 友達マップ全体表示] にタッチする

▼

全体表示画面が表示されます。

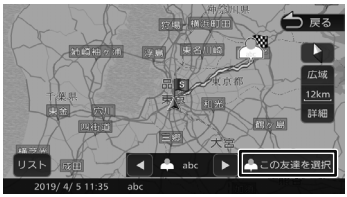
■ 友達の位置を目的地に設定する

1 地図画面に友達の位置を表示させる

2 友達アイコンにタッチする

複数の友達の位置情報を取得している場合は、[◀]、[▶]、[リスト] にタッチして位置を選ぶことができます。

3 [この友達を選択] にタッチする

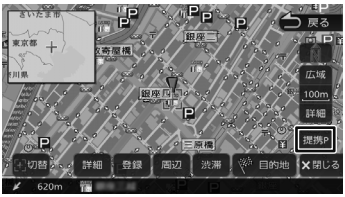


4 [目的地] にタッチする

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P] が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 [提携 P] にタッチする



2 [前へ] / [次へ] にタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] にタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順 3 に進んでください。

[リスト]：

リストから施設を選ぶことができます。

3 [このピンを選択] にタッチする

▼

[目的地] にタッチすると、ルートの探索がはじまります。(➜ P.54)

ルートの探索と案内

ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

ここまでの手順 行き先を検索して、地点情報画面を表示する
（➜ P.44）

1 ［目的地］にタッチする

表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。

- 経由地を設定する場合は 62 ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか？」と表示されたときは、
  ［はい］：一般道を目的地（経由地）に設定します。
  ［いいえ］：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか？」と表示されたときは、55 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件にタッチする

目的地までの到着予想時刻と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後の IC 名が表示されます。

［推奨］：
本機が推奨するルートです。

［距離］：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

［高速］：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

［一般］：
一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路 (有料道路) を通るルートになることがあります。

［高速 / 距離］：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

［5 ルート］：
すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。
5 ルートを表示すると、ルートの中でエコ（燃費が経済的）なルートに（葉っぱ）アイコンが表示されます。

［ルート情報］：
選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

入神田橋 / 出八王子 ：
利用するインターチェンジを変更します。
（➜ P.64）有料道路を使用するときに表示されます。

［マイルートアジャスター］：
ルート探索の詳細条件を設定します。
マイルートアジャスター機能は、5 ルート（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）すべてに詳細条件が反映されます。
設定については 102 ページをご覧ください。

2 ［案内開始］にタッチする

ルート案内が開始されます。（➜ P.56）

- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。
  フェリーアイコン：
- フェリーを利用したルートを案内する場合の「料金」表示には、フェリーの使用料は含まれていません。
- スマート IC を利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマート IC アイコンが表示されます。
  スマート IC アイコン：
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「￥～以上」または「￥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報 (通行止めなど) を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

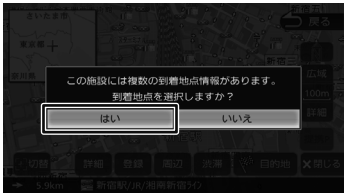
■ 渋滞考慮探索

- ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。

複数の到着地点情報があったとき

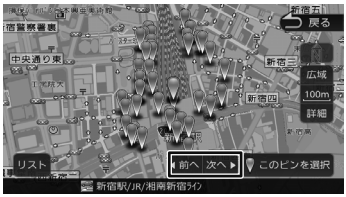
検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 ［はい］にタッチする



2 ［前へ］/［次へ］にタッチして、目的の施設を選ぶ

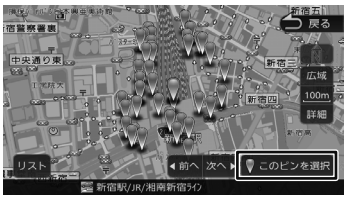
［前へ］/［次へ］にタッチするたびに施設情報が切り替わります。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］にタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 ［このピンを選択］にタッチする



▼

選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。（➜ P.54）

ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。

① **◆案内ポイント**

② **自車位置マーク**

③ **案内ルート**
目的地または経由地までのルートです。
道路の種類(一般道 / 高速道路 / 細街路)によって色分けして表示されます。

④ **到着予想時刻と距離**
対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

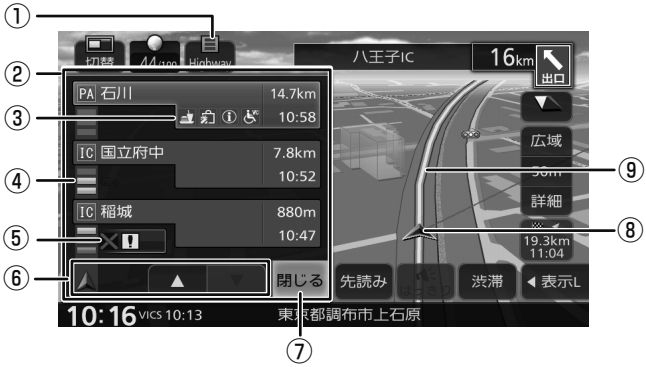
⑤ **レーン情報表示**
（白色矢印）：案内レーン
（水色矢印）：推奨通過レーン

⑥ **次々案内ポイント情報**
次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

⑦ **次案内ポイント情報**
次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① **ハイウェイモードボタン**
ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② **ハイウェイモード画面**
高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
ここです案内または高速分岐イラストが表示されます。

③ **施設名称 / 施設案内表示**
進行方向にあるインターチェンジ（IC)/ ジャンクション（JCT)、サービスエリア（SA)、パーキングエリア（PA)、料金所の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。
SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。
施設情報に表示される設備のマークは、最大 4 個です。

④ **交通情報表示**
施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑤ **規制情報表示**
車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が 3 件までマークで表示されます。(➜ P.92)
マークにタッチすると詳細情報を表示します。
情報が複数あるときはリストが表示されます。
見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ **スクロールボタン / 現区間**
ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると［現区間］ボタンが表示されます。［現区間］タッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦ **閉じる**
ハイウェイモード画面を閉じます。
①にタッチすると再度表示します。

⑧ **自車マーク**

⑨ **案内ルート**

- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、ここです案内、交差点案内図、高速道分岐イラストが表示されます。割り込み表示は、現在地図画面で表示されます。

割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示にタッチしてください。
消した割り込み表示は、［案内図］にタッチするともう一度表示できます。

- AV 画面を表示しているときに割り込み表示があると、割り込み表示と地図画面に切り替わります。割り込み表示が終了すると、AV 画面に戻ります。
- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。（➜ P.99）
- ここです案内と交差点案内図の表示を両方 ON に設定している場合は、案内ポイントの 50m 手前（高速道路では 300m 手前）で、ここです案内から交差点案内図の表示に切り替わります。（➜ P.99）
- ドライブレコーダー映像を表示しているときに案内ポイントに近づくと、割り込み表示（現在地図画面）に切り替わります。この場合、割り込み表示が終了してもドライブレコーダー画面には戻らず、ドライブレコーダー画面表示前の AV ソースの画面を表示します。

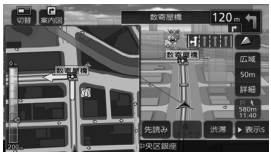
ここです案内表示

案内する交差点の約 350m（高速道路は約 1.1km）手前に近づくと表示されます。

交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m（高速道路は約 800m）手前に近づくと表示されます。



■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

■ 空港構内案内

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。

■ **分岐**

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。

場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。

■ **出口後分岐**

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。

■ **料金所後分岐**

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。

ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

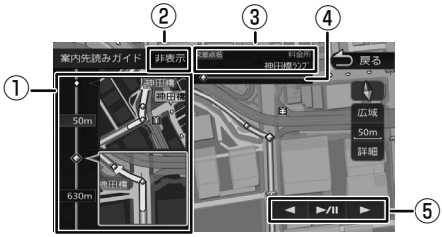
ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。

案内先読みガイド表示

ルート案内中に、次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。

1 ［先読み］にタッチする

案内先読みガイドが表示されます。



① **案内先読みガイド**

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが2ポイントずつ表示されます。

② **［非表示］**

案内先読みガイドの表示を消します。消すと［非表示］は［表示］になります。［表示］にタッチするとガイドを表示します。

③ **交差点名**

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

④ **プログレスバー**

案内先読みガイド表示（最大 99）全体のうちのどのあたりのガイド表示かを表します。

⑤ **オンルートスクロール操作ボタン**

ボタン	説明
▶	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
◀	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。
▶/II	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。

- オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

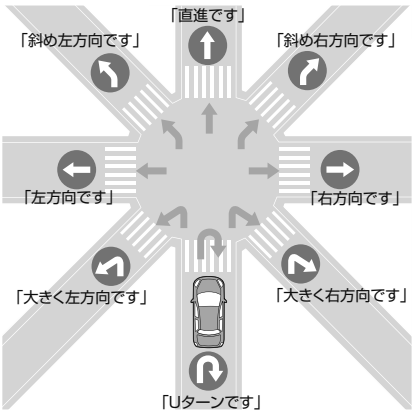
音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。

- 音声案内の前には“ジャーン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(➜ P.98)
- 音声案内の音量調整は 98 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(➜ P.109)
- ルート案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。

進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞回避探索

渋滞を回避してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。渋滞回避の探索は設定があります。102 ページをご覧ください。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(➜ P.98)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行する車線にご注意ください。
	この先、走行する車線にご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行する車線にご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)

- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ VICS 渋滞 /VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います。(ルート案内中以外でも音声案内を行います)

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ○○ km/m 先、(交差点名)を先頭に、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、(交差点名)を先頭に、渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。
	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。 左へお寄りください。

■ 盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。（現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います）
お買い上げ時は音声案内しない設定になっています。音声案内するように設定することができます。(➜ P.99)

音声
目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。
現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

■ リフレッシュ通知

運転開始（本機が電源オン状態のままで）から2時間ごとに以下の音声案内を行います。
お買い上げ時は通知する設定になっています。通知しないように設定することができます。(➜ P.109)

音声
そろそろ2時間になります。休憩しませんか？

逆走注意喚起について

高速道路 / 有料道路入口を走行しているときと、SA/PA で本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で運転者に逆走注意喚起します。
お買い上げ時は注意喚起する設定になっています。注意喚起しないように設定することができます。(➜ P.99)

■ 画面表示

注意喚起は約 5 秒間表示します。
画面をタッチすると表示が消えます。

■ 音声案内

音声
自動車専用道路に入ります。逆走にご注意ください。

- 逆走注意喚起は本機の電源をオンにしたときに、道路条件によって案内タイミングが遅れる場合があります。
- 下記のような条件の場合には、注意喚起しないまたは、タイミングがずれることがあります。また下記以外の状況でも注意喚起が正しく行われない場合があります。
  - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行している場合
  - 高架橋下や高層ビル群地帯、トンネルなど GPS 信号が正しく受信できない場合
  - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
- 走行の際は、実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。

逆走時の案内について

本機は高速道路にて逆走状態を検知した場合は、画面表示と音声で案内を行います。

■ 画面表示

逆走中は以下の表示が表示されます。

[閉じる] をタッチすると表示が消えます。
【現在地 /AV】を押しても表示を消すことができます。

■ 音声案内

音声
逆走しているおそれがあります。進行方向を確認してください。

- 以下のような場合、逆走中でも案内しないことや、順走中に案内する場合があります。
  - GPS 信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。
  - 複雑な走行規制、構造のインターチェンジ付近を走行している場合。
  - 地図データベースにはない道路や、形状が変更された道路を走行している場合。
- 案内は状況によって正しく行われないことがあります。
- 実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。
- 逆走の案内は一般道では行われません。確認のうえ、安全に走行してください。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチする

2 ［再探索］にタッチする

3 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

選択したルートでルート案内が開始されます。

- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

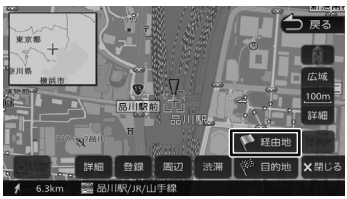
経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は 5 か所まで追加できます。

- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 行き先を検索する （➜ P.44）

1 ［経由地］にタッチする



2 経由地の挿入位置を確認し、［決定］にタッチする

ルートの探索がはじまります。

挿入位置の変更や削除については 63 ページをご覧ください。

3 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

［到着順変更］：

到着順を編集することができます。編集操作は後述の「目的地・経由地の順番を入れ替える」の手順2からの操作をご覧ください。

▼

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチして［到着順変更］にタッチする

2 順番を変更する行き先にタッチする

3 移動先の［挿入］にタッチする

4 ［再探索］にタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチして［到着順変更］にタッチする

2 削除する行き先にタッチする

3 ［削除］にタッチする

選択した行き先が削除されます。

4 ［再探索］にタッチする

5 探索条件を選んで［案内開始］にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチして［再探索］にタッチする

2 変更したい入口または出口 IC にタッチする

3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ

［切替］：
タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC(最大 36 件まで) を選ぶことができます。

4 ［この IC に変更］にタッチする

指定した IC を通過するルートが探索されます。

5 ［案内開始］にタッチする

- 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとすると、確認メッセージが表示され、［はい］にタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、［はい］にタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチして［再探索］にタッチする

2 ［IC 変更を解除］にタッチする

変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 ［案内開始］にタッチする

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチして［ルート表示］にタッチする

［ルート情報］：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

［デモ走行］：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

［×1］/［×2］/［×3］：
デモ走行のスピードを変更できます。

［デモ終了］：デモ走行を終了します。

- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチして［目的地表示］にタッチする

2 表示する目的地または経由地にタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

1 【メニュー】を押して［ルート］にタッチする

2 ［案内終了］にタッチする

メッセージが表示されます。

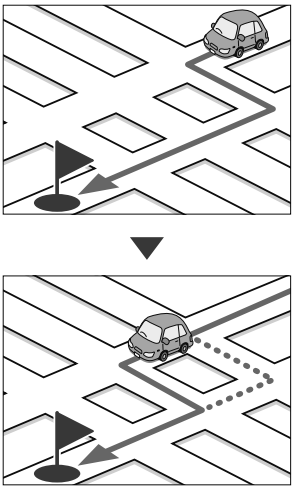
3 ［はい］にタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。
本機には 300 件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 ［登録］にタッチする

3 登録するグループにタッチする

4 ［決定］にタッチする

この画面で登録する名称を編集することができます。文字の入力方法は 26 ページをご覧ください。

- 手順 3 で登録先のグループを選択しなかった場合は「未分類」グループに登録されます。
- 名称は、後からでも編集することができます。(➜ P.68)

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 「目的地検索」画面の［登録地点］にタッチする

2 見たい地点情報のグループにタッチする

▼

登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］にタッチして［登録地点編集］にタッチする

2 ［登録地点編集］にタッチする

3 編集したい地点のグループにタッチする

4 編集したい地点にタッチする

5 編集したい項目にタッチする

● 名称を編集する

名称欄にタッチして名前を入力して［決定］にタッチします。

● グループを変更する

グループ欄にタッチして設定したいグループにタッチします。

● 電話番号を設定および変更する

電話番号欄にタッチして電話番号を入力して［決定］にタッチします。

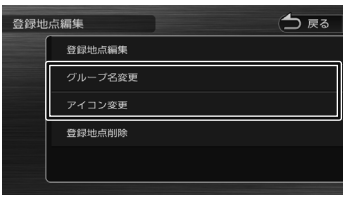
- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法については 26 ページをご覧ください。
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「－」は省略することもできます。
- 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。

- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点 1 ～ 5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

1 「登録地点を編集する」の手順２の画面を表示する



● **グループ名を編集する**

［グループ名変更］にタッチして編集したいグループにタッチします。グループ名を編集して [決定] にタッチします。

● **グループアイコンを変更する**

［アイコン変更］にタッチしてアイコンを変更したいグループにタッチします。
変更したいアイコンにタッチします。

登録地点を削除する

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 登録地点編集画面を表示する

2 ［登録地点削除］にタッチする

3 削除したい地点のあるグループにタッチする

4 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

5 ［削除］にタッチする

6 ［はい］にタッチする

選択した登録地点が削除されます。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【メニュー】を押して［ソース切替］にタッチする

ソース切替画面が表示されます。

2 切り替えたいソースにタッチする

iPod：
iPod のオーディオファイルを再生します。（➜ P.89）

USB：
USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.84）

SD：
SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.84）

Bluetooth AUDIO：
本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。（➜ P.128）

地デジ（NMZK-W70D のみ）：
地上デジタル TV 放送を受信します。（➜ P.74）

FM：
FM ラジオ放送を受信します。（➜ P.72）

AM：
AM ラジオ放送を受信します。（➜ P.72）

交通情報：
交通情報放送を受信します。（➜ P.74）

DISC：
CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。（➜ P.78、P.81）

- DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

■ AV 画面からソース選択画面を表示する

AV 画面左上のソース名にタッチするとソース選択画面を表示します。

ソースをオフ（スタンバイ）にする

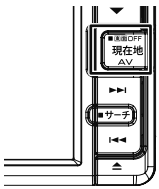
1 ソース切替画面で［スタンバイ］にタッチする

- ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

AV 画面を表示する

現在地図画面から AV 画面を表示する

1 【現在地 /AV】を押す



画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1 **調整する映像ソース画面を表示する**

2 **[映像調整] にタッチする**

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

3 **[−] または [＋] にタッチして各項目を調整する**

コントラスト：
コントラストを調整します。
- ［+］：コントラストが強くなります。
- ［−］：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：
明るさを調整します。
- ［+］：明るくなります。
- ［−］：暗くなります。

色の濃さ：
色の濃淡を調整します。
- ［+］：色が濃くなります。
- ［−］：色が淡くなります。

色合い（カメラ / ドライブレコーダー映像のみ）：
色合いを［+］/［−］で調整します。

- 地図画面の画質は調整できません。
- ［非表示］にタッチすると、操作ボタンを消すことができます。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- カメラ映像、地デジの映像、およびドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 **サイズを変更する映像ソース画面を表示する**

2 **［映像調整］にタッチする**

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

3 **「アスペクト」の ◀ または ▶ にタッチして、サイズを調整する**

レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート：
16：9 の映像はフルで、4：3 の映像はレギュラーで表示します。

■ **映像サイズイメージ**

	16：9 画像	4：3 画像	その他	
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			

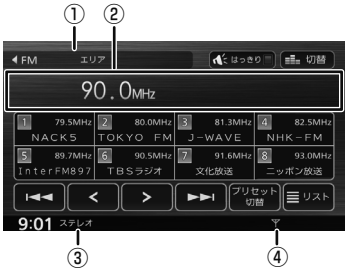
- オリジナルは SD、USB ソースのみです。
- オートは DVD 再生時のみです。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを AM または FM に切り替える（➜ P.70）



① **プリセットモード**
② **プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局名**
③ **ステレオ受信表示**
④ **電波の強さ**

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[はっきり]	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。詳細は 33 ページをご覧ください。
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
[1] ～ [8]（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。
◀ / ▶	放送局を選択します。 タッチするたびに、1 ステップずつ周波数を変えて選局します（マニュアル選局）。タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
⏮ / ⏭	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します（オート選局）。
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / お気に入り 1/ お気に入り 2）を切り替えます。（➜ P.73）
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。（➜ P.73）

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。
エリアモードで選択できる放送局は、［リスト］にタッチすると表示できます。（➜ P.73）

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。
（➜ P.73）

1 ［プリセット切替］にタッチする

タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 →お気に入り 2 →エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 ［プリセット切替］にタッチして、エリアモードに切り替える

2 ［リスト］にタッチする

3 受信する放送局にタッチする

1 ～ 8：プリセットボタンにプリセットされている放送局

コ：コミュニティ FM 局

- 「コミュニティ」FM 局とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（➜ P.72）

2 ［プリセット切替］にタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える

3 登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。
登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンにタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

ここまでの手順
ソースを交通情報に切り替える（➜ P.70）

手動で切り替えるには、［1620kHz］または［1629kHz］にタッチします。

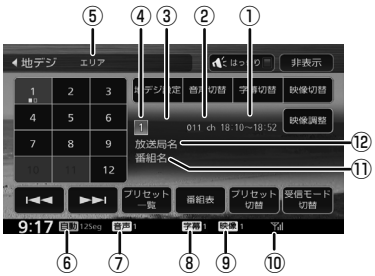
- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

地デジを視聴する（NMZK-W70D のみ）

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを地デジに切り替える（➜ P.70）

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **放送時間**
② **チャンネル番号**
③ **サービスのロゴ**
④ **プリセット番号**
⑤ **プリセットモード**
⑥ **受信モード**
⑦ **音声の種類**
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
⑧ **字幕の種類**
字幕を選択しているときに表示されます。
⑨ **映像の種類**
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。
⑩ **電波の強さ**
⑪ **番組名**
⑫ **受信している放送局名またはサービス名**

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
［はっきり］	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。詳細は 33 ページをご覧ください。
［非表示］	操作ボタンを消します。

ボタン	説明
[1] ～ [12]（プリセットチャンネルボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
[地デジ設定]	地デジ設定画面を表示します。 (➜ P.78)
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (➜ P.71)
[⏮] / [⏭]	前または次のプリセット局を選局します。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
[番組表]	番組表を表示します。(➜ P.76)
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / ホーム / お出かけ）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 固定 1Seg： ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定 12Seg： 12 セグ固定モードに切り替えます。 自動： 自動受信モード（1Seg または 12Seg）に切り替えます。

- 画面に表示される地デジ受信情報やアイコンについては、74 ページをご覧ください。
- 12 セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像 / 音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12 セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は 5.1ch サラウンドには対応しておりません。音声は 2ch で出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の 3 つのモードがあります。

■ エリア

エリアでは現在地周辺の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

■ ホーム / お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺では ホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

1 ［プリセット切替］にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります

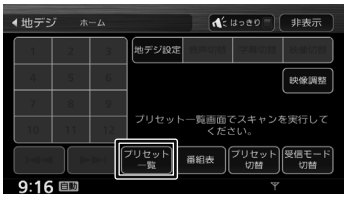
放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 ［プリセット切替］にタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

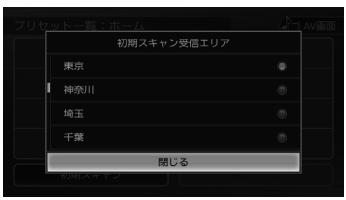
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

2 ［プリセット一覧］にタッチする



3 ［初期スキャン］にタッチする

4 現在地の都道府県にタッチして［はい］にタッチする



▼

受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。

- ［再スキャン］は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行った後も、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

最大 8 日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

1 ［番組表］にタッチする

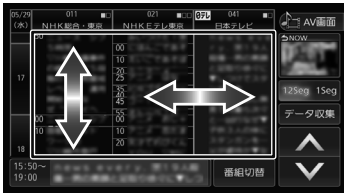
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

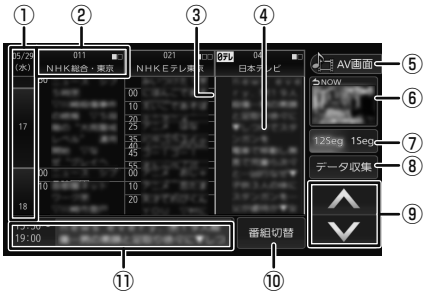
番組表が表示されます。

- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは［データ収集］にタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。





① **日時：**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。

② **放送局：**
タッチするとその放送局を受信します。

③ **フォーカス**
緑色の枠で表示されます。

④ **現在視聴中の番組：**
背景が青色で表示されます。

⑤ **[AV 画面]：**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。

⑥ **視聴中番組：**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。

⑦ 12Seg 1Seg **：**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。

⑧ **[データ収集]：**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。

⑨ ∧ / ∨ **：**
フォーカスを移動します。

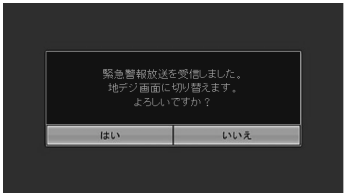
⑩ **[番組切替]：**
マルチ編成番組 (1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること) の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。

⑪ **番組詳細：**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。



[はい]：
緊急警報放送に切り替わります。

- 緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定」の［中継局 / 系列局サーチ］で設定できます。［中継局 / 系列局サーチ］を“自動切替 (中継局)”に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。

- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

1 ［地デジ設定］にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨 */ 12 セグを優先 / 切替頻度を低減	受信モードを［自動］に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局 / 系列局サーチ	自動切替しない / 自動切替（中継局）/ 自動切替（中継局＋系列局）*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない / 第一言語 */ 第二言語 /	表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合のお問い合わせ時に必要になることがあります。	

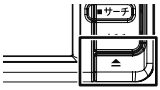
*：お買い上げ時の設定です。

CD・オーディオファイルディスクを再生する

ディスクを入れる / 出す

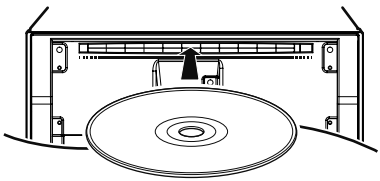
ディスクを入れる

1 【⏏】（オープンキー）を押す



2 ［DISC］にタッチする

3 ディスクを挿入口に入れる

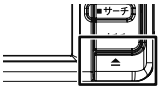


フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。

ディスクを取り出す

1 【⏏】（オープンキー）を押す

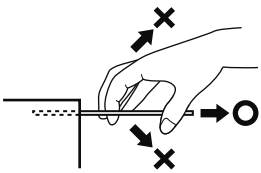


2 ［DISC］にタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

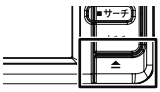
3 ディスクを取り出す

- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

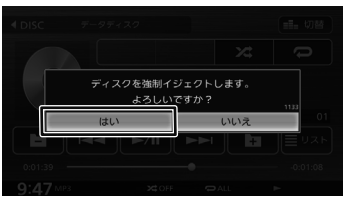


ディスクを取り出せないときは

1 【⏏】（オープンキー）を押し続ける



2 ［はい］にタッチする



フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

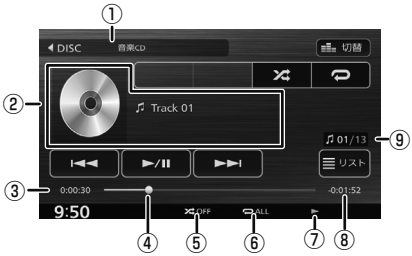
画面の見かたと操作

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

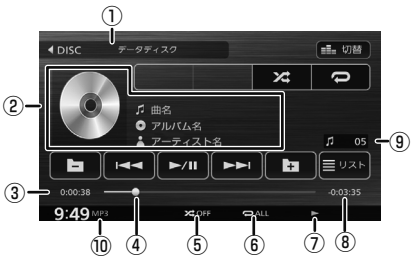
ここまでの手順

ソースを DISC に切り替える（➜ P.70）

音楽 CD



オーディオファイルディスク



① ディスクの種類
② 音楽 CD：
　♫ トラック番号
　オーディオファイルディスク：
　♫ 曲名（ファイル名）
　アルバム名（フォルダ名）
　アーティスト名
　アルバムアート画像
③ 演奏時間
④ シークバー
⑤ ランダム再生モード
⑥ リピート再生モード
⑦ 再生状態表示
⑧ 演奏残り時間
⑨ トラック番号 / 総曲数（ファイル番号）
⑩ ファイル形式（オーディオファイルディスクのみ）

つづく➜

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • OFF： ランダム再生モードを解除します。 • ALL（音楽 CD のみ）： アルバム内の曲をランダム再生します。 • フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL： すべての曲をくり返し再生します。 • 1： 再生中の曲をくり返し再生します。 • フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
/	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
/ （オーディオファイルディスクのみ）	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 • [トップ]（オーディオファイルディスクのみ）： 一番上の階層のフォルダに移動します。 • [一つ上]（オーディオファイルディスクのみ）： 一つ上の階層のフォルダに移動します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

DVD を再生する

画面の見かたと操作（DVD ビデオ /DVD-VR）

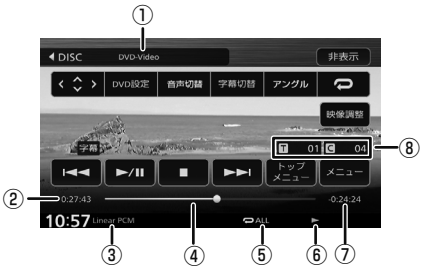
DVD を再生します。
ディスクの出し入れについては、78 ページをご覧ください。

ここまでの手順

ソースを DISC に切り替える（➜ P.70）

DVD ビデオを再生する

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ディスクの種類**
② **再生時間**
③ **音声形式**
④ **シークバー**
⑤ **リピート再生モード**
⑥ **再生状態表示**
⑦ **再生残り時間**
⑧ **タイトル番号 / チャプター番号**

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
［非表示］	操作ボタンを消します。
‹ ⌃⌄ ›	カーソルを表示します。 （➜ P.83）
［DVD 設定］	DVD の設定画面を表示します。 （➜ P.83） このボタンにタッチすると、再生中のビデオは停止します。
［音声切替］	音声を切り替えます。
［字幕切替］	字幕を切り替えます。
［アングル］	アングルを切り替えます。
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・⟲ ALL： すべてのチャプターをくり返し再生します。 ・⟲チャプター： 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ・⟲タイトル： 再生中のタイトルをくり返し再生します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。 （➜ P.71）
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
■	再生を停止します。
⏮ / ⏭	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
［トップメニュー］	ディスクのトップメニューを表示します。
［メニュー］	ディスクのメニューを表示します。

DVD-VR を再生する

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ディスクの種類**
② **再生時間**
③ **音声形式**
④ **シークバー**
⑤ **リピート再生モード**
⑥ **再生状態表示**
⑦ **再生残り時間**
⑧ **プログラム番号またはプレイリスト番号 / チャプター番号**

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
［非表示］	操作ボタンを消します。
［DVD 設定］	DVD の設定をします。
［音声切替］	音声の種類を切り替えます。
［字幕切替］	字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・ALL： すべてのチャプターをくり返し再生します。 ・チャプター： 再生中のチャプターをくり返し再生します。 ・プログラム： 再生中のプログラムをくり返し再生します。 ・プレイリスト： 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。 （➜ P.71）

ボタン	説明
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	再生を停止します。
/	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
［プログラムリスト］	プログラムリストを表示します。
［プレイリスト］	プレイリストを表示します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中に画面にタッチする

2 ‹ ⇕ › にタッチする

3 各ボタンにタッチして操作する

[非表示]：
操作ボタンを消します。

‹ / › / ⌄ / ⌃：
タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン]：
ディスクメニューの 1 階層上の項目を表示します。

[決定]：
選択中の項目を実行します。

- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目に直接タッチして操作できます。

DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。
操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。

1 ［DVD 設定］にタッチする

2 各項目を設定する

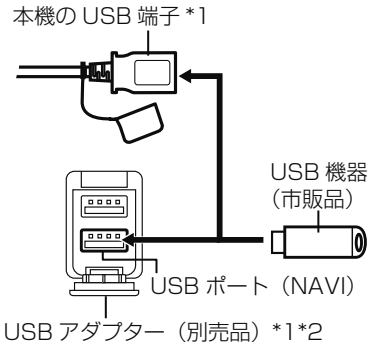
設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー / トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する



*1：併用はできません。どちらかの選択になります。
*2：別売品のお買い求めについては販売店へお問い合わせください。（車両により形状は異なります）

- 本機で再生できる USB 機器は 162 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機の USB ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することはできません。

USB 機器を取り外す

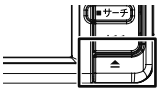
ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。
USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

- 本機で再生できる SD カードは 162 ページをご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

- フルオープンの状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フルオープンのままで電源をオフ（ACC オフ）にすると、フロントパネルが開いたままの状態で電源が切れます。

1 【⏏】（オープンキー）を押す

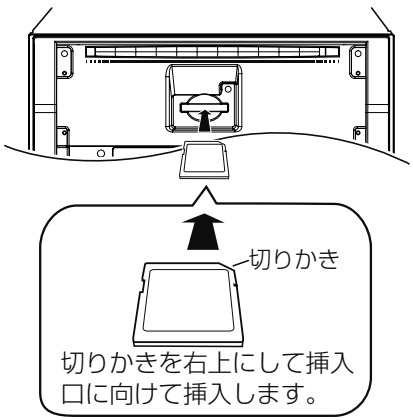


2 ［フルオープン］にタッチする

フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れるまたは出す

入れるときは、SD カードは、突き当たるまで奥に差し込んでください。
出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ここまでの手順

ソースを USB または SD に切り替える（➜ P.70）

オーディオファイルの AV 画面

USB

SD

① 曲名（ファイル名）
アルバム名（フォルダ名）
アーティスト名
アルバムアート画像
② 再生時間
③ 音声形式
④ シークバー
⑤ ランダム再生モード
⑥ リピート再生モード
⑦ 再生状態表示
⑧ 再生残り時間
⑨ ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
[カテゴリー DB 更新]	再生中の USB 機器または SD カードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。 （➜ P.87）
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • OFF： ランダム再生モードを解除します。 • フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 • 曲（カテゴリーデータベース再生のみ）： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 • フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
/	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
/	前 / 次フォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 • 再生リストについては 87 ページをご覧ください。

ビデオファイルの AV 画面

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

▼

USB

SD

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。

画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ファイル名**
　フォルダ名
② **再生時間**
③ **映像形式 / 音声形式**
④ **シークバー**
⑤ **ランダム再生モード**
⑥ **リピート再生モード**
⑦ **再生状態アイコン**
⑧ **再生残り時間**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［非表示］	操作ボタンを消します。
［カテゴリー DB 更新］	再生中の USB 機器または SD カードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。(➜ P.87)
	• OFF： ランダム再生モードを解除します。 • フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 • 曲（カテゴリーデータベース再生のみ）： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 • フォルダ（フォルダリスト再生時のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。 (➜ P.71)
	再生または一時停止（ポーズ）します。
/	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
/	前 / 次フォルダの先頭ファイルから再生します。
［リスト］	再生リストを表示します。 • 再生リストについては 87 ページをご覧ください。

再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。[リスト] にタッチして再生リストを表示します。モードのリストを切り替えるボタンにタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。

モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	説明
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態で再生します。[トップ]、[一つ上] にタッチするとフォルダが表示されます。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリーから選んで再生します。[トップ] にタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。

- カテゴリーデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。

カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する

リストから曲またはビデオを再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲またはビデオを再生できます。

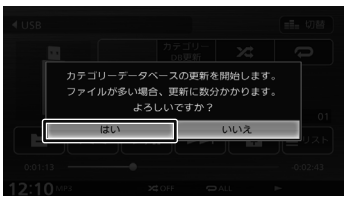
カテゴリーデータベースを作成 / 更新する

- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。

1 [カテゴリー DB 更新] にタッチする

メッセージが表示されます。

2 [はい] にタッチする



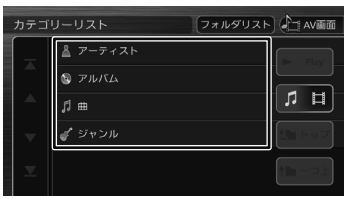
カテゴリーモードで再生する

1 [リスト] にタッチする

2 フォルダリスト画面の [カテゴリーリスト] にタッチする

3 (ビデオリスト) または (ミュージックリスト) を選ぶ

4 再生するファイルを選ぶ



[トップ]：
一番上の階層のリストに移動します。

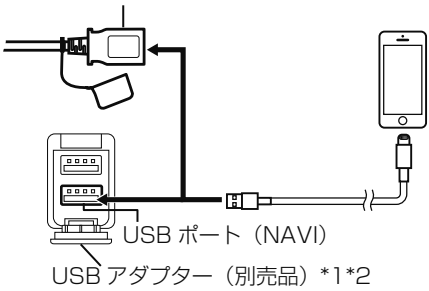
[一つ上]：
一つ上の階層のリストに移動します。

：
該当するフォルダまたはリストの先頭のファイルから再生されます。

iPod の曲を再生する

iPod を接続する

本機に iPod/iPhone を USB 接続する場合は、iPod/iPhone に付属の接続ケーブルで接続します。



*1：併用はできません。どちらかの選択になります。
*2：別売品のお買い求めについては販売店へお問い合わせください。（車両により形状は異なります）

- iPod/iPhone に付属のケーブルは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で変形や故障の原因になります。

iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

iPod の接続方法を設定する

お買い上げ時は、接続方法が USB 接続になっています。Bluetooth 接続する場合は、接続方法を設定しなおしてください。

- この操作を行う前に、本機に iPod/iPhone が USB 接続している場合は、取り外してください。接続している機器があると設定を変更できません。また本機に Bluetooth 接続している機器がある場合も接続を解除してください。

1 【メニュー】を押して［情報・設定］にタッチして［外部機器］にタッチする

2 「AV」の［iPhone との接続方法］にタッチする

3 接続方法にタッチする

USB：
iPod 接続ケーブルで USB 接続します。

Bluetooth：
Bluetooth で接続します。
Bluetooth 接続に設定した後に、接続する機器を本機に Bluetooth 機器として登録し、接続してください。登録については 116 ページをご覧ください。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを iPod に切り替える（➜ P.70）

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。
- 「iPhone の接続方法」の設定が「USB」、「Bluetooth」のどちらに設定されていても、アルバムアート画像がある場合は表示されます。
- シャッフル再生が設定されているときは、アルバムアートが表示されない場合があります。

① 曲名
アルバム名
アーティスト名
アルバムアート画像
② 再生時間
③ 接続方法
④ シークバー
⑤ ランダム再生モード
⑥ リピート再生モード
⑦ 再生状態
⑧ 再生残り時間
⑨ 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
[デバイス切替]（Bluetooth 接続時のみ）	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 • OFF：シャッフル再生モードを解除します。 • 曲：リスト内の曲をシャッフル再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • OFF：リピート再生モードを解除します。 • ALL：リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 • 1：再生中の曲をくり返し再生します。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
/	前 / 次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチする

情報・設定画面が表示されます。

■ **情報**

VICS：
FM VICS、ETC2.0 割り込み情報を表示します。(➜ P.91)

接続：
本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(➜ P.114)

バージョン：
本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(➜ P.113)

ETC：
本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(➜ P.131)

ECO：
車のエコドライブ情報を表示します。(➜ P.97)

■ **設定**

ナビ：
ナビゲーションに関する設定を行います。(➜ P.98)

サウンド：
サウンドに関する設定を行います。(➜ P.103)

システム：
システムに関する設定を行います。(➜ P.109)

外部機器：
外部機器に関する設定を行います。(➜ P.113)

登録地点編集：
登録地点を編集します。(➜ P.68)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、一般財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- **レベル 1（文字型情報）**
  情報が文字で表示されます。
- **レベル 2（簡易図形型情報）**
  情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3（地図表示型情報）**
  情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）、光ビーコンと ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。

- ITS スポットから情報を取得するには、本機対応の**ダイハツ純正** ETC2.0 車載器が必要です。(➜ P.129)
- 光ビーコン情報を取得するには、本機に接続する ETC2.0 車載器が高度化光ビーコンまたは光ビーコンに対応している必要があります。

VICS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

■ **FM 多重放送**

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
- FM 放送時間外は利用できません。

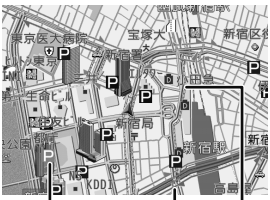
■ **光ビーコン**

- 光ビーコンの発信器は主に一般道に設置されています。
- 以下の場合は受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

統計情報による渋滞線（点線）
薄赤色：渋滞
薄橙色：混雑
薄青色：順調

気象・災害情報エリアの表示

気象・災害情報エリア

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害	チェーン 規制
故障車	**入口閉鎖**	**入口制限**	**イベント**	**出口制限**

火災	凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止
片側交互通行	**駐車場閉鎖**	**駐車場混雑**	**駐車場空き**	**駐車場満車**
		背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場不明	**SA・PA 閉鎖**	**SA・PA 混雑**	**SA・PA 空き**	**SA・PA 満車**
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色	背景赤色
SA・PA 不明	**その他の規制**	**工事**	**徐行**	**速度規制**
背景黒色				
対面通行	**作業**	**気象情報**	**災害情報**	**災害情報**

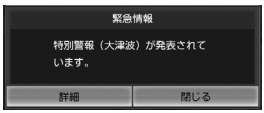
- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図表示型（レベル 3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ～ 1km です（一般道では 10m ～ 500m です。また、駐車場情報は 10m ～ 200m で表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。

緊急情報の割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。

- 緊急情報表示は［戻る］にタッチする、または約 15 秒経過すると消えます。

「VICS WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



[詳細]：
詳細にタッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。

[閉じる]：
タッチすると緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。

[詳細]：
上記の VICS 詳細情報を表示します。

[上位置]/[下位置]：
表示を画面上部または下部に移動させます。

[切替]：
複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

[閉じる]：
割り込み表示を消します。

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークにタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。

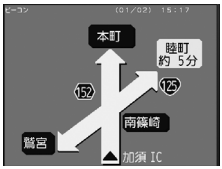
[切替]：
複数の VICS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

2 [詳細] にタッチする

VICS の詳しい情報が表示されます。

簡易図形型（レベル 2）/ 文字型（レベル 1）情報の割り込み表示

光ビーコンから受信した簡易図形型（レベル 2)/ 文字型（レベル 1）情報は、地図画面に割り込み表示されます。



▼ / ▲：
表示ページを切り替えます。

[図形] / [文字]：
文字型（レベル 1）情報と簡易図形型（レベル 2）情報の表示を切り替えます。

- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図以外の画面（設定画面や AV 画面など）が表示されているときには、割り込み表示されません。
- FM 多重放送で受信した文字情報および簡易図形情報は、地図画面の［渋滞］にタッチするか、または情報・設定画面（➜ P.91）からご覧ください。
- 文字情報、簡易図形情報が割り込み表示しないように設定することができます。（➜ P.96）
- 割り込み表示の時間を設定することができます。（➜ P.96）
- ここです案内、交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

ETC2.0 割り込み表示

本機に対応のダイハツ純正 ETC2.0 車載器（➜ P.129）を接続している場合、ITS スポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。（優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。）音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- 一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報

▼：
表示ページを切り替えます。

［再生］/［停止］：
音声情報を再生または停止します。

- ETC2.0 優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定することができます。（➜ P.96）
- 割り込み表示の時間を設定することができます。（➜ P.96）
- 音声情報を再生中は、設定した割り込み表示の時間を過ぎても表示し続けます。
- ETC2.0 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示中は割り込み表示しません。

VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [VICS] にタッチする

2 表示したい情報にタッチする

［FM 図形情報］/［FM 文字情報］：
FM-VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

［ビーコン図形情報］/［ビーコン文字情報］：
ビーコン VICS 情報から受信した図形 / 文字情報を表示します。

［ETC2.0（DSRC）割り込み情報］：
ETC2.0 車載器で受信した割り込み情報を表示します。

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示

番号をタッチすると、図形 / 文字情報の詳細情報表示が切り替わります。

■ 図形情報

▼ / ▲：一つ前 / 次の情報に切り替えます。

■ 文字情報

▼ / ▲：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

ビーコン VICS 図形情報 / 文字情報の表示

■ 図形情報

▼ / ▲：表示ページを切り替えます。

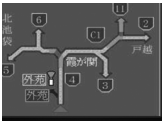
［文字］：
ビーコン VICS 文字情報に切り替えます。

■ 文字情報

▼ / ▲：一つ前 / 次の情報に切り替えます。

［図形］：ビーコン VICS 図形情報に切り替えます。

ETC2.0 割り込み情報



▼ / ▲ ：
一つ前 / 次の情報に切り替えます。

［再生］/［停止］：
音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局
  現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。広域移動する場合には自動選局のほうが便利です。
- 手動選局
  FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
  県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [VICS] にタッチする

2 ［VICS FM 選局モード］にタッチする

3 ［自動］にタッチする

［自動］にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動で選局する

1 ［VICS FM 選局モード］にタッチする

2 ［自動］にタッチしてチェックを外す

3 ◀ または ▶ にタッチして、受信周波数を設定する

受信する周波数が設定されます。

VICS 情報の表示設定をする

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする

2 「交通情報」の設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	−	VICS 情報の表示内容について設定します。(➜ P.96)
図形情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した簡易図形型（レベル 2）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
文字情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応ETC2.0 車載器の光ビーコンで受信した文字型（レベル 1）情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
割り込み表示の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *	ETC2.0 車載器情報で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
ETC2.0（DSRC）優先情報の割り込み表示	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で受信した優先情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
ETC2.0（DSRC）一般情報の割り込み表示	ON*/OFF	ETC2.0 車載器で受信した一般情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
ETC2.0（DSRC）アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能のオン / オフを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

- この設定はダイハツ純正 ETC2.0 車載器が接続されているときに設定できます。
- 光ビーコン情報を取得するには、本機に接続する ETC2.0 車載器が高度化光ビーコンまたは光ビーコンに対応している必要があります。

地図上の VICS 表示方法を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 「交通情報」にタッチして［VICS 情報表示］にタッチする

2 表示する項目にタッチする

表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目にタッチすると、選択が解除されます。

- [表示オフ] にタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

● 表示設定項目

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示：高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示：一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

メニュー画面、現在地図画面でエコドライブ情報を見ることができます。

ECO ドライブ評点

ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100 点満点で表示されます。
e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

1 **【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ＥＣＯ] にタッチする**

◀ / ▶ :
現在表示されている情報の 1 日前 /1 日後の情報を表示します。

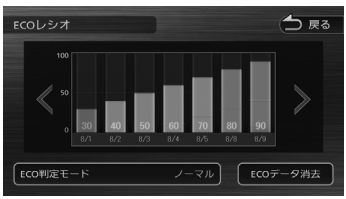
[ECO レシオ]：
燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート：**
  停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速：**
  加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速：**
  減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度：**
  一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

ECO レシオについて

ECO 情報画面で［ECO レシオ］にタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。



◀◀ / ▶▶ :
グラフ表示を 1 日分スクロールします

[ECO 判定モード]：
ECO 度の判定のモード（ソフト / ノーマル / ハード）を設定します。
ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。（お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています)

[ECO データ消去]：
過去の ECO データを消去します。
確認のメッセージで［はい］にタッチすると、ECO データが削除されます。

- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする

2 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● **地図**

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	地図色：1*/2/3 文字サイズ：小 / 中 */ 大 地図色昼夜切替：自動 */ 昼色に固定 / 夜色に固定	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。(➜ P.100)
ランドマーク表示	−	地図に表示するランドマークを設定します。(➜ P.101)
登録地点表示	−	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーにタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。[表示オフ] にタッチするとすべて表示しません。
自車マーク	* / /	自車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(➜ P.101)
走行軌跡を消去	−	記憶されている走行軌跡を消去します。(➜ P.101)
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ /3D ビュー *	地図の向きを設定します。
地図の向き（小画面）	ノースアップ / ヘディングアップ /3D ビュー *	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
市街地図の表示縮尺	50m 以下 /100m 以下 *	市街地図の表示縮尺を設定します。
盗難多発地点表示	ON/OFF*	盗難多発地点を表示するかどうかを設定します。 縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分して表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF	冠水注意地点を表示するかどうかを設定します。 • 縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 • 冠水注意地点表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。

● **案内**

項目	設定	説明
案内音声の音量	1 ～ 25* ～ 40	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	案内音量設定と車速に応じて、案内音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時または VICS 情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON： ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	

項目	設定	説明
ETC 音声の出力	ON*/OFF	対応ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC 料金の表示	ON*/OFF	対応ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。(➜ P.34)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。(➜ P.34)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。(➜ P.58)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(➜ P.58)
ここです案内表示	ここです案内の表示（➜ P.58）を設定します。 OFF: 表示しません。 一般道のみON*: 一般道のみ表示します。 ON: 表示します。	
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときにETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。(➜ P.59)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。
盗難多発地点音声案内	ON/OFF*	盗難多発地点の音声案内をするかどうかを設定します。
信号情報案内（TSPS）の表示	ON*/OFF	信号情報案内 (TSPS) をするかどうかを設定します。(➜ P.132)
逆走注意喚起	ON*/OFF	高速道路 / 有料道路入口を走行しているときと、SA/PA で本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で運転者に逆走注意喚起します。(➜ P.61)

- 「ETC 音声の出力」、「ETC 料金の表示」は、ダイハツ純正 ETC 車載器またはダイハツ純正 ETC2.0 車載器（➜ P.129）が接続されているときに設定できます。
- 「信号情報案内（TSPS）の表示」は、別売品の高度化光ビーコンに対応しているダイハツ純正 ETC2.0 車載器（➜ P.129）が接続されているときに設定できます。
- 「交差点案内図の表示」と「ここです案内表示」を両方 ON に設定している場合は、案内ポイントの 50m 手前（高速道路では 300m 手前）で、ここです案内から交差点案内図の表示に切り替わります。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨 *、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(➜ P.54)
マイルートアジャスター	探索の詳細条件を選択し、マイルート 1 ～ 3 に設定することができます。(➜ P.102)	
スマート IC 考慮	ON/OFF*	スマート IC を利用する探索を行うかどうかを設定します。
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。

- スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

つづく➜

● 交通情報

この設定については 96 ページをご覧ください。

● その他

項目	設定	説明
NaviCon 友達マップ	この設定については「NaviCon で探す」（➜ P.50）で使用します。	
車両ナンバー	軽 */ 5・7/ 3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。（➜ P.100）	

*：お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 「地図」の［地図色 / 文字サイズ］にタッチする

2 設定したい項目にタッチする

地図色：

地図色を設定します。

文字サイズ：

小、中、大から文字サイズを設定します。

地図色昼夜切替：

- ［自動］：
  車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。（ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色）
- ［昼色に固定］：
  常に昼色の地図を画面に表示します（昼画面）。
- ［夜色に固定］：
  常に夜色の地図を画面に表示します（夜画面）。

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

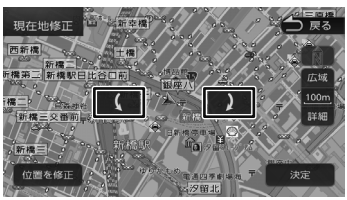
1 「その他」の［現在地修正］にタッチする

地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる（位置を修正）

3 ［向きを修正］にタッチする

4 ◀ または ▶ にタッチして、自車の向きを設定する（向きを修正）



5 ［決定］にタッチする

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。
- 手順 5 で［決定］にタッチする前なら、［位置を修正］または［向きを修正］にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。
- 手順 5 で［決定］にタッチする前に［戻る］にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されて、ナビ設定に戻ります。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 「地図」の［走行軌跡の表示］にタッチする

［ON］：
走行軌跡を表示します。

［OFF］：
走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

1 「地図」の［走行軌跡を消去］にタッチして、［はい］にタッチする

- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を“OFF”に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。

1 「地図」の［ランドマーク表示］にタッチする

2 設定するパターンにタッチする

3 表示するランドマークのジャンルにタッチする

タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。

さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名にタッチすると分類が表示されます。設定したい項目にタッチします。

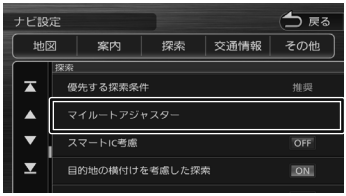
▼

表示させたいパターン（1 ～ 3）にタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。

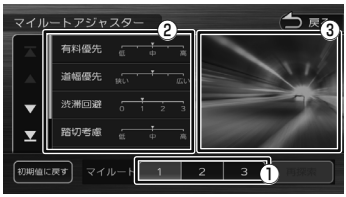
- ［表示オフ］にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

ルート探索の条件を設定する

1 「探索」の［マイルートアジャスター］にタッチする



2 探索条件を登録したいマイルート１～３のいずれかにタッチして（①）設定したい項目にタッチして（②）調整する（③）



設定できる項目は以下のとおりです。

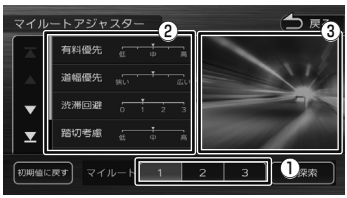
項目	設定	説明
有料優先	低～中＊～高（5 段階）	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～広い（5 段階）	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は「狭い」と「広い」の中間です。
渋滞回避	0 ～ 1＊～ 3	0：渋滞回避しません。 1：渋滞回避を多少優先する 2：渋滞回避を優先する 3：渋滞回避を積極的に優先する
踏切考慮	低～中＊～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
ルート学習	ON*/OFF	自宅から半径 3km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行しているとナビが学習し、実際に走るルートを学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかしないかを設定します。 ［学習の初期化］にタッチするとメッセージが表示されます。［はい］にタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

＊：お買い上げ時の設定です。

■ 案内開始画面から［マイルートアジャスター］機能を使う

1 ［マイルートアジャスター］にタッチする

2 探索条件を登録したいマイルート１～３のいずれかにタッチして（①）設定したい項目にタッチして（②）調整する（③）



3 ［再探索］にタッチする

ルートを再探索します。

サウンドの設定をする

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（スタンバイ）のときは、サウンドの設定はできません。
- バランス / フェーダー以外は、ハンズフリー通話の通話中や発信、着信中は設定できません。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [サウンド] にタッチする

2 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。(➜ P.104)
イコライザー	音質を設定します。(➜ P.106)
バランス/フェーダー	◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ にタッチして前後のバランスを調整することもできます。 [センターに戻す]： 左右 / 前後ともに中央になります。
音質・音場効果	音響効果を設定します。(➜ P.107)
スピーカー	スピーカーの構成を設定します。(➜ P.103)
ソースレベル	各 AV ソースの音量をそろえます。(➜ P.108)

スピーカー構成を設定する

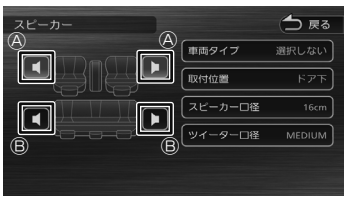
車両タイプと実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。
簡易的に設定したい場合は手順2で車両タイプを選ぶだけでも車両タイプの標準的な設定になります。

1 [スピーカー] にタッチする

2 [車両タイプ] にタッチする

3 車両のタイプにタッチする

4 設定するスピーカーにタッチする



Ⓐ : フロントスピーカー
Ⓑ : リアスピーカー

つづく➜

5 各項目にタッチして設定する

[取付位置]：
スピーカーの位置を設定します。

[スピーカー口径]：
スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”に設定できません。

[ツイーター口径]：
ツイーターの口径を設定します。

- スピーカーを設定した後に車両タイプの設定を行うとスピーカーの設定は破棄されます。

リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。
リスニング設定には２つの設定方法があります。
２つ同時に設定することはできません。

リスニングポジション：
設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

フロントフォーカス：
仮想の音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合「左側優先」を選んでください。

- リスニング設定はスピーカー構成の設定（➜ P.103）で車両タイプとスピーカー構成の両方が設定されていないと正しく設定できません。
- スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合は、リアスピーカー調整ができません。
- フロントフォーカスの［ディレイ］設定の［音像左右（主調整）］の［リアを出力しないで調整］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合はタッチできません。
- フロントフォーカス調整の［ディレイ］設定の［音像左右（微調整）］と［仮想音場の広さ］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を“なし”に設定している場合は調整できません。
- フロントフォーカスを調整するときに表示される画面に［閉じる］が表示されているときは、［閉じる］にタッチして閉じてください。

1 車両タイプを設定してスピーカーを設定する（➜ P.103）

2 ［リスニング設定］にタッチする

3 リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席にタッチする

選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。
設定はさらに微調整することもできます。（➜ P.105）

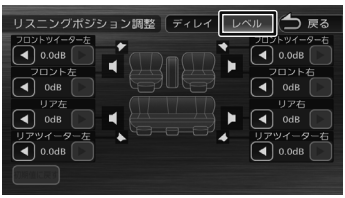
リスニングポジションを微調整する

1 ［調整］にタッチする

2 ［ディレイ］にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして実際に測った距離を設定する

お使いの車で実際に測った距離を設定します。
リスニングポジションを「全ての座席」または「前の両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

3 ［レベル］にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして音を聴きながら調整する



フロントフォーカスの微調整をする

1 ［調整］にタッチする

2 ［ディレイ］にタッチして下記の順で各項目を設定する

［音像左右（主調整）］にタッチする

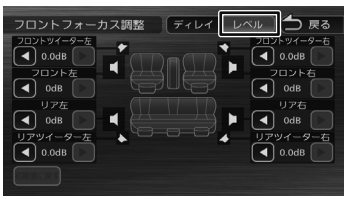
［リアを出力しないで調整］にチェックが付いている状態で、◀ または ▶ にタッチして、音像イメージが座席の正面になるように調整します。
次に［リアを出力しないで調整］にチェックが消えている状態で、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は ◀ または ▶ にタッチして調整してください。

▼

［仮想音場の広さ］にタッチする

音を聞きながら ◀ または ▶ にタッチしてお好みの広さイメージになるよう調整します。この調整で音像イメージが正面からずれたときは［音像左右（微調整）］で微調整してください。

3 ［レベル］にタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチして音を聴きながら調整する



設定した値を初期設定に戻す

［初期値に戻す］にタッチするとメッセージが表示されます。
［はい］にタッチするとディレイとレベルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。

- はっきり音声機能がオンになっているソースは、プリセットイコライザーの設定はできません。

1 設定したいソースを選ぶ

2 ［イコライザー］にタッチする

3 ［プリセット選択］にタッチする

4 設定したいプリセットイコライザー（ジャンル）にタッチする

手順１で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

1 設定したいソースを選ぶ

2 ［イコライザー］にタッチする

3 画面を指でなぞる

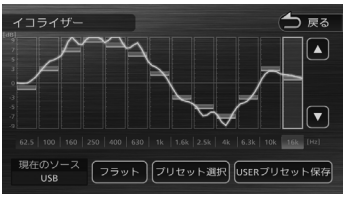
［フラット］：
すべての周波数帯域をフラットにします。

- 調整したい周波数を選んでタッチし、▲ または ▼ にタッチしてレベルを設定することもできます。

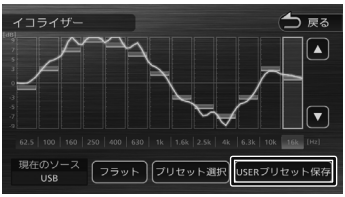
調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーの USER1 ～ 4 に保存できます。

1 イコライザーカーブを調整する



2 ［USER プリセット保存］にタッチする



3 保存先にタッチする

音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

1 ［音質・音場効果］にタッチする

2 各項目を調整する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
ミュージックバスブースト	OFF/1*/2/3	低音楽器の音を増強するレベルを設定します。
ミュージックラウドネス	OFF*/LOW/HIGH	小音量時でも音楽的な周波数バランスが保たれて聞こえるように、低音と高音を補います。 録音レベルが大きい曲の場合は LOW、小さい曲の場合は HIGH が適しています。
Drive Equalizer +	OFF ～ 7* ～ 9	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
リアライザー	OFF/1*/2/3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サウンドライザー	OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 ［ソースレベル］にタッチする

2 現在のソースの［－］または［＋］にタッチして、音量を調整する

- ［iPhone との接続方法］を"Bluetooth"にしているときは、iPod ソースと Bluetooth AUDIO ソースの音量レベル設定は「Bluetooth Audio/iPod」で調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [システム] にタッチする

2 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● AV

項目	設定	説明
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる */ 消音	音声案内時の AV ソースの音量を設定します。
スターターボリューム	動作しない */ 更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅	電源オン時に AV の音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。

● 表示

項目	設定	説明
映像画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中に時計を表示するかどうかを設定します。 映像表示中以外の画面（現在地図画面、画面オフなど）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。
消灯画面の時計表示	ON*/OFF	画面オフ時に時計を表示するかどうかを設定します。 画面オフ中以外の画面では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両

項目	設定	説明
ステアリングスイッチ	車両のステアリングスイッチで本機を操作できるように設定します。 (➜ P.28)	
ステアリングスイッチ学習	ステアリングスイッチの動作を設定します。(➜ P.30)	
ステアリング＊スイッチ設定	ステアリング＊スイッチの動作を設定します。(➜ P.28)	
速度超過アラーム	OFF/ 低速 ON/ 高速 ON/ 低速 / 高速 ON*	設定の詳細については 110 ページをご覧ください。
パーキングブレーキアラーム	ON*/OFF	パーキングブレーキをかけたまま発進したときに音声で警告案内するかしないかを設定します。 (➜ P.110)
事故 / 故障の通知	ON*/OFF	車両の事故や車両のシステム故障などを本機の画面に表示します。 (➜ P.111)
その他の車両状態の通知	ON*/OFF	シートベルト未装着や半ドアなどを本機の画面に表示します。 (➜ P.111)
標識検知の表示	ON*/OFF	進入禁止、一時停止、速度制限の標識を検知すると本機の画面に表示します。 (➜ P.111)

● 一般

項目	設定	説明
リフレッシュ通知	ON*/OFF	61 ページの「リフレッシュ通知」をご覧ください。
SD カード初期化	SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、すべて消去されます。	
操作音の出力	ON*/OFF	操作音を設定します。
ショートカットボタン登録	マイメニューに表示されるショートカットボタンに機能を割り当てます。 (➜ P.20)	
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。(➜ P.112)	
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。 (➜ P.112)	
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。 (➜ P.112)	
セキュリティインジケーター	ON*/OFF	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケーターを点滅させるかどうかを設定します。

つづく➜

● 特別

項目	設定	説明
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。	
ユーザー切替	一部の設定を2ユーザー分保持することができます。(➜ P.23)	
システムの初期化	ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。(➜ P.112)	

*:お買い上げ時の設定です。

車両情報の案内を設定する

車両からの信号をもとに、速度超過や車両の事故/故障などを本機から案内することができます。

- 事故/故障・車両状態によっては、案内されない場合があります。
- 111ページ「事故/故障の通知」、「その他の車両状態の通知」、「標識検知の表示」は対応していない車両や機能があります。

速度超過アラーム

速度(約60km/h、約100km/h、または両方)超過を案内する音声をいつ出力するかを設定します。

1 「車両」の[速度超過アラーム]にタッチする

2 速度超過アラームを鳴らすタイミングを設定する

[OFF]:
警告案内しません。

[低速ON]:
約60km/hになったときに音声で警告案内します。

[高速ON]:
約100km/hになったときに音声で警告案内します。

[低速/高速ON]:
約60km/hと約100km/hになったときにそれぞれ音声で警告案内します。

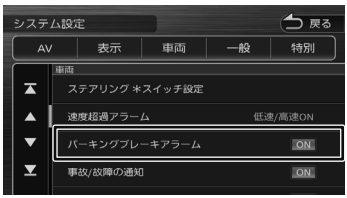
■ **音声案内**

音声
速度にご注意ください

パーキングブレーキアラーム

パーキングブレーキをかけたまま発進したときに音声で警告案内するかしないかを設定します。

1 「車両」の[パーキングブレーキアラーム]にタッチする



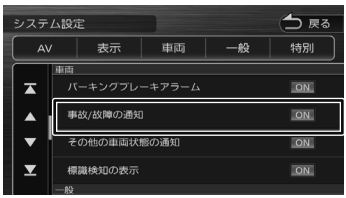
■ **音声案内**

音声
パーキングブレーキをご確認ください

事故 / 故障の通知

車両の事故や車両のシステム故障などを本機の画面に表示するかしないかを設定します。

1 「車両」の［事故 / 故障の通知］にタッチする

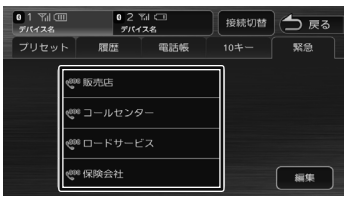


■ 画面表示

例：ブレーキシステム故障検知

［電話をかける］：

Bluetooth ハンズフリー接続しているときに、電話メニューの緊急連絡先画面を表示します。マイメニューの「お問い合わせ情報」に入力されている車両の販売店、コールセンター、ロードサービス、保険会社に電話をかけることができます。



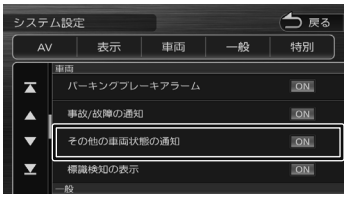
［編集］：

お問い合わせ情報画面の連絡先の情報を編集することができます。
編集方法については 22 ページをご覧ください。

その他の車両状態の通知

シートベルト未装着時や半ドアなどを検知した場合に、通知を本機の画面に表示するかしないかを設定します。

1 「車両」の［その他の車両状態の通知］にタッチする



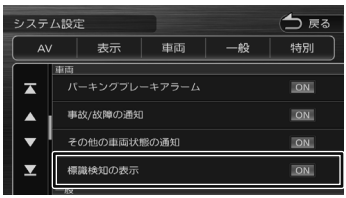
■ 画面表示

例：シートベルト未装着時警告

標識検知の表示

一時停止、進入禁止、速度標識などの標識を車両が検知した場合に本機の画面に表示するかしないかを設定します。

1 「車両」の［標識検知の表示］にタッチする



■ 画面表示

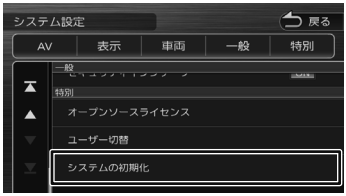
例：速度標識検知

- 一部の車両のみ設定できます。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
暗証番号は、設定を初期化しても削除されません。

1 「特別」の［システムの初期化］にタッチして、［はい］にタッチする

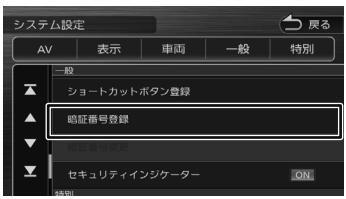


暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

> 暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。
> 正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。
> ・ 暗証番号記入欄

1 「一般」の［暗証番号登録］にタッチする



2 設定する 4 ～ 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

3 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

暗証番号を変更する

暗証番号を変更します。

1 「一般」の［暗証番号変更］にタッチする

2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

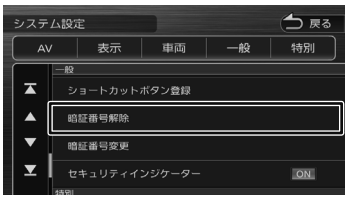
3 新しく設定する 4 ～ 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

暗証番号を解除する

暗証番号を解除します。

1 「一般」の［暗証番号解除］にタッチする



2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］にタッチする

現在の暗証番号が解除されます。

外部機器の設定をする

本機に外部機器を接続するときに必要な設定を行います。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 設定する項目にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● Bluetooth

Bluetooth の設定については 118 ページをご覧ください。

● AV

項目	設定	説明
iPhone との接続方法	USB*/ Bluetooth	iPod ソースを使うときの iPhone または iPod touch の接続方法を設定します。(➜ P.89)

● カメラ

項目	設定	説明
バックモニター機能	ON/OFF*	ダイハツ純正 バックモニターを接続しているときは ON に設定します。(➜ P.134)
バックモニター設定	—	ダイハツ純正 バックモニターのガイド線の設定を行います。(➜ P.136)
コーナーセンサー表示	ON*/OFF	コーナーセンサー装備車両の場合（車両により対応していない場合があります）、バックモニターにコーナーセンサー表示をするかしないかを設定します。(➜ P.138)

● その他

項目	設定	説明
EXP コネクター接続	なし */ ETC/ ドライブレコーダー	ダイハツ純正 ETC 車載器を接続したときは、[ETC] に設定してください。ダイハツ純正 ドライブレコーダーを接続したときは、[ドライブレコーダー] に設定してください。

*：お買い上げ時の設定です。

- 「EXP コネクター接続」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [バージョン] にタッチする

▼

バージョン情報が表示されます。

接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [接続] にタッチする

接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
ETC 車載器	ダイハツ純正 ETC 車載器の接続状態を表示します。
ETC2.0 (DSRC) 車載器	ダイハツ純正 ETC2.0 車載器の接続状態を表示します。 接続中： ダイハツ純正 ETC2.0 車載器を接続しているときに表示します。 接続中＋光： ダイハツ純正 ETC2.0 車載器が光ビーコンに対応しているときに表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。[初期化] にタッチすると、センサーの学習を初期化します。
カメラユニット	一部の車両にのみ装着されている ダイハツ純正 3 モードカメラまたは ダイハツ純正 パノラマモニターの接続状態を表示します。
車両情報 *	車両情報連携対応車両の場合は「接続中」と表示され、接続状態を確認できます。
コーナーセンサー *	コーナーセンサー装備車両の場合は、「ON」になっていることを確認してください。
ステアリング連動ガイド線 *	ステアリング連動機能対応車両の場合は、「ON」になっていることを確認してください。ダイハツ純正 3 モードカメラまたは ダイハツ純正 パノラマモニターを接続している場合は表示されません。
ドライブレコーダー	別売の本機対応ドライブレコーダーを接続しているときの接続状態を表示します。

*：イグニッションキーを ON にして表示を確認してください。「ACC」では確認できません。

- センサーの学習初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。
一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。
センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。

- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

地図更新について

本機の地図は更新することができます。
本製品は「無償地図更新」の特典を、期間限定でご利用いただけます。
地図更新は、「パソコンを使って Web からダウンロードする」または、「SD カードの送付（はがき申し込み）」を選択することができます。

■ 内容

パソコンを使って Web からダウンロードする場合

2021 年春版（2020 年秋地図データ）
2022 年春版（2021 年秋地図データ）
2023 年春版（2022 年秋地図データ）
のいずれかの地図を、1 回のみ無償にて更新できます。

SD カードの送付（はがき申し込み）の場合

2023 年春版（2022 年秋地図データ）のみ無償で SD カードを送付します。

■ 更新可能期間

2021 年 3 月～ 2024 年 2 月予定
更新期間の詳細は https://www.kenwood.com/jp/products/oem/daihatsu/でご確認ください。

■ 更新方法

地図を更新するには MapFan へ登録します。
地図更新、MapFan への登録方法については https://www.kenwood.com/jp/products/oem/daihatsu/でお使いのカーナビの型名を選んでご覧ください。
MapFan に登録するときに、本機のモデル名と製造番号が必要です。

地図データの更新にはパソコン通信環境と SDHC カード（8GB 以上）が別途必要です。

■ パソコンおよびインターネット通信環境がないお客様へ

2023 年春版（2022 年秋地図データ）のみ SD カードで送付いたします。同梱の申込みハガキに必要事項を記載の上、受付期間内にご送付ください。

申込み受付期間：

本体購入時～ 2021 年 6 月 30 日まで
お届け時期：2023 年 3 月～ 4 月 (予定)
地図データ：2023 年春版（2022 年秋地図データ）

個人情報の利用目的と使用範囲

無償地図更新申込みハガキにご記入頂いた個人情報は、無償地図更新申込みの目的以外には使用しません。また、お客様からご提供頂いた個人情報は第三者には開示しません。
ただし、無償地図更新業務および関連業務を必要に応じて委託する業務委託先には、必要最小限の範囲で開示します。その場合、業務委託先に開示された個人情報の管理と目的外使用の禁止を徹底させます。

無償地図更新に関するお問い合わせは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

電話：0120-977-846

受付時間 月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

■ 開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を毎年 6 月と 11 月の 2 回更新することができます。
詳細は当社サイト https://www.kenwood.com/jp/products/oem/daihatsu/をご覧ください。

Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 接続中アイコン

- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようとすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、166 ページをご覧ください。

ステップ 1：Bluetooth 機器側で登録操作をする

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

- iPhone/iPod touch を登録する場合は、117 ページをご覧ください。
- 手順 2 で Bluetooth 機器から本機を選ぶときの名前を変えることができます。（➜ P.121）

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器で“NMZK-W70D”または“NMZK-W70D2”を選ぶ

Bluetooth 機器により、次のどちらかの画面が表示されます。

● Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示された場合

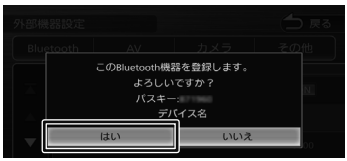
表示された本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力する

初期設定は“0000”に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。（➜ P.118）

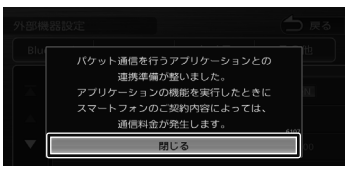
● パスキーまたは PIN コードを確認する画面が表示された場合

デバイス名とパスキーを確認し、［はい］にタッチする



Bluetooth 機器の登録がはじまります。Bluetooth 機器によっては、デバイス名またはパスキーのみが表示され、自動的に登録がはじまるものがあります。

3 ［閉じる］にタッチする



1 台も Bluetooth 機器の登録がない場合は、ここで登録（ペアリング）操作は終了です。

ハンズフリーはハンズフリー 1 に接続されています。

PBAP 対応機器は電話帳を登録することができます。1 台目の電話機の電話帳を登録したい場合は 126 ページをご覧ください。

2 台目の登録の場合は続けてステップ 2 と 3 の画面が表示されますので画面に従ってステップ 2 と 3 も設定してください。

ステップ 2：ハンズフリー設定

1 ハンズフリーの接続番号を選ぶ

ハンズフリー 1/
ハンズフリー2：
発着や着信に使用します。

接続しない：
機器の登録のみで発着や着信はできません。

2 Bluetooth オーディオ機器 / スマートフォン連携として接続するか選択する

A2DP に対応している機器の場合は、「この Bluetooth 機器と BT Audio/ アプリケーション連携接続しますか？」と表示されます。

[はい]：
ハンズフリー接続、BT AUDIO 再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[いいえ]：
ハンズフリー接続のみとなります。

ステップ 3：電話帳の登録

1 電話帳を登録するか選択する

PBAP に対応している機器の場合は「この Bluetooth 機器の電話帳を登録しますか？」と表示されます。

[はい]：
電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

[いいえ]：
電話帳の登録はしません。

▼

登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

- 電話帳登録中に [終了] にタッチすると登録を中断します。
- 電話帳の登録はここで［いいえ］にタッチしても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- iPod ソースを選択中で、「iPhone との接続方法」が "Bluetooth" 設定時に電話帳を登録すると、iPod の接続が一時的に切断されます。
- 電話帳登録中に画面を地図画面やメニュー画面に切り替えたり、ソースを切り替えると、電話帳登録を中断します。中断した場合は、電話帳を登録しなおしてください。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

オートペアリング機能で登録する

iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。（➜ P.118）

- iOS4 以下には対応していません。116 ページの登録方法で登録してください。
- iOS5 以上でも登録ができない場合は 116 ページの登録方法で登録してください。

1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする

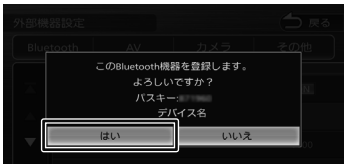
2 iPhone または iPod touch を USB ケーブルで接続する

接続方法は 89 ページをご覧ください。

本機に次の画面が表示されます。

つづく➜

3 デバイス名とパスキーを確認し、[はい] にタッチする



1 台も Bluetooth 機器の登録がない状態で登録した場合は、ここで登録（ペアリング）操作は終了です。

PBAP 対応機器は電話帳を登録することができます。電話帳を登録したい場合は 126 ページをご覧ください。

ハンズフリーはハンズフリー 1 に接続されています。

2 台目の登録の場合は、続けてステップ2と3の画面が表示されますので 117 ページの「ステップ 2：ハンズフリー設定」から続けて操作してください。

- オートペアリング機能をオフにして本機に登録する場合は、116 ページの手順 1 から行ってください。
- [iPhone との接続方法]（➜ P.89）が "Bluetooth" に設定されているとオートペアリングでの登録はできません。

Bluetooth の設定をする

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 [Bluetooth] にタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/ OFF	Bluetooth 接続するかしないかを設定します。
デバイス接続	本機に Bluetooth 機器を接続します。（➜ P.119）	
PIN コード	0000*	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。（➜ P.121）
ナビのデバイス名	本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。（➜ P.121）	
ナビのデバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。	
オートペアリング	ON*/ OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1 秒 / 5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒	着信時に、自動的に通話可能になるまでの時間を設定します。
着信音量	0 ～ 15* ～ 40	着信音を調整します。
受話音量	0 ～ 15* ～ 40	受話音量を調整します。
案内 / 通話音量調整	ON*/ OFF	案内中およびハンズフリー通話中は、それぞれ音量キーで調整することができます。OFF に設定すると案内中またはハンズフリー通話中の調整ができなくなります。
音質調整	－	通話音質を調整します。（➜ P.119）

*：お買い上げ時の設定です。

- 割り込みの通話が可能な契約をしている携帯電話を接続し、[着信の自動応答] を“OFF”または“1 秒”以外に設定した場合、割り込み通話を着信すると割り込みの通話先に自動的に切り替わります。

■ 音質を調整する

1 「Bluetooth」の［音質調整］にタッチする

2 各項目を調整する

エコーキャンセル（－ 5 ～ 0* ～ +5）：
エコーキャンセルの値を調整します。

ノイズリダクション（－ 5 ～ 0* ～ +5）：
ノイズリダクションの値を調整します。

マイクゲイン（－ 10 ～ 0* ～ +10）：
マイクゲインの値を調整します。

ミュート：
タッチしてチェックが付いていると送話を消音します。
もう一度タッチしてチェックを外すと消音を解除します。

*：お買い上げ時の設定です。

Bluetooth 機器を接続する

1 「Bluetooth」の［デバイス接続］にタッチする

2 接続する Bluetooth 機器にタッチする

3 接続方法にタッチする

[ハンズフリー 1]/[ハンズフリー 2]：
ハンズフリー通話を使用します。

[BT Audio/ アプリケーション連携]：
Bluetooth AUDIO 再生と本機対応のスマートフォン連携アプリを使用します。

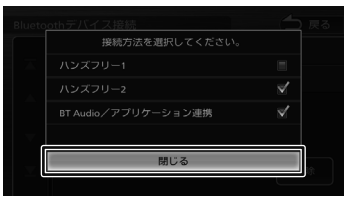
接続方法を選択すると機器にアイコンが表示されます。

Bluetooth 機器の接続を解除する

1 「Bluetooth」の［デバイス接続］にタッチする

2 解除したい Bluetooth 機器にタッチする

3 接続を解除する方法にタッチして [閉じる] にタッチする

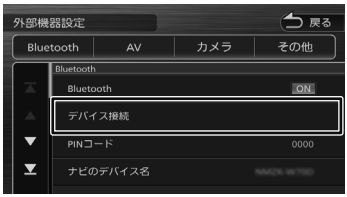


- チェックマークがすべて外れていれば、ハンズフリー、BT Audio/ アプリケーション連携接続の両方を解除したことになります。

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

1 「Bluetooth」の［デバイス接続］にタッチする



2 ［削除］にタッチする

3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、［削除］にタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての機器を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての機器の選択を解除します。

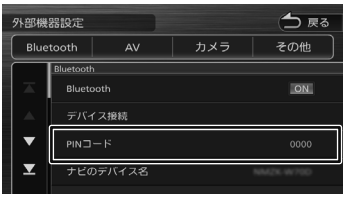
4 ［はい］にタッチする

選択した機器が削除されます。

PIN コードを変更する

接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

1 「Bluetooth」の [PIN コード] にタッチする



2 PIN コードを入力して [決定] にタッチする

PIN コードが変更されます。

BS：
カーソルの前にある文字を消去します。

- 入力できるPINコードは４～８桁です。

本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 「Bluetooth」の [ナビのデバイス名] にタッチする

2 デバイス名を入力して [決定] にタッチする

デバイス名が変更されます。

[小文字]：
アルファベットの小文字を入力できます。

- デバイス名は 20 文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベット（大文字、小文字）、数字とスペースです。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話メニュー画面を表示する

1 【メニュー】を押して [電話メニュー] にタッチする

電話メニュー画面が表示されます。

電話メニュー画面の見かたと操作

① [ハンズフリー 1] / ② [ハンズフリー 2]
２台登録している場合は、２台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は１または２にタッチして接続機器を選択してください。

- プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
- 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態が表示されます。
- 接続した Bluetooth 機器のバッテリー残量、デバイス名が表示されます。

③ [接続切替]
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。（➜ P.119）

④ [プリセット]
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。（➜ P.123）

[履歴]
PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。（➜ P.125）

[電話帳]
電話帳を表示します。（➜ P.125）

[10 キー]
電話番号を入力します。（➜ P.127）

[緊急]
登録されている販売店やコールセンター、ロードサービスなどに電話をかけることができます。（➜ P.127）

⑤ [リダイヤル]
前回発信した電話番号に発信します。

⑥ [編集]
プリセットダイヤルに電話番号を登録します。（➜ P.124）

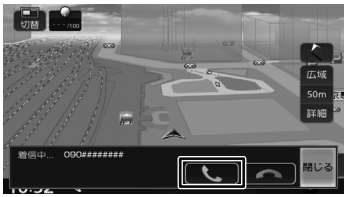
⑦ プリセットダイヤル
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。（➜ P.123）

- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 にタッチする



（通話終了）：
着信を拒否します。

[はっきり]
タッチしてチェックを付けるとはっきり音声機能がオンになり、音声が聞き取りやすくなります。（➜ P.33）

[通話切替]（割り込みの通話が発生中に表示）：
通話先を切り替えます。
接続している機器がキャッチホン契約されていないと現在の通話が切れる場合があります。

[音質調整]：
音質を調整します。（➜ P.119）

[トーン]
トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。

：
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

[閉じる]：
表示を消します。
［電話］にタッチすると再度表示します。

- ハンズフリー通話の着信音量と受話音量は、AV の音量とそれぞれ独立して調整できます。（➜P.17、P.118）

2 通話が終わったら、 にタッチする

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。
あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。（➜ P.124）

1 【メニュー】を押して [電話メニュー] にタッチする

2 発信するダイヤルにタッチする

選択した電話番号に発信されます。

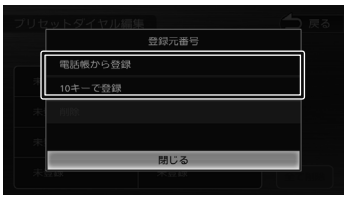
プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

1 ［編集］にタッチする

2 登録するプリセットにタッチする

3 登録方法にタッチし、電話番号を登録する



［電話帳から登録］：
登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

［10キーで登録］：
電話番号を入力し、［登録］にタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

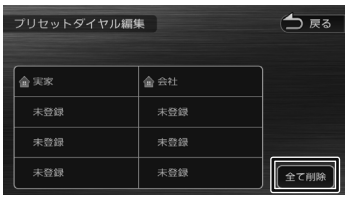
プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 ［編集］にタッチする

2

■ 全て削除する場合

［全て削除］にタッチする

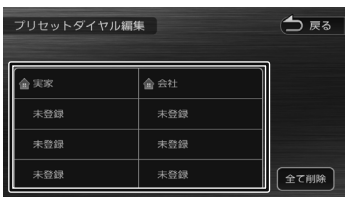


［はい］にタッチする

全てのプリセットダイヤルが削除されます。

■ 選んで削除する場合

削除したいプリセットダイヤルにタッチする



▼

［削除］にタッチする

［はい］にタッチする

選択したプリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

1 【メニュー】を押して [電話メニュー] にタッチする

2 ［履歴］にタッチする

機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

3 発信する履歴にタッチして、［はい］にタッチする

▼

選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 ［電話帳］にタッチする

2 発信する相手にタッチする

3 発信する電話番号にタッチして、［はい］にタッチする

▼

選択した電話番号に発信されます。

- 電話帳の登録方法については 126 ページをご覧ください。

PBAP 対応機器の電話帳を登録する

最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の PBAP 対応機器の電話番号を本機に登録することができます。

- 電話帳登録中は、カーナビ連携スマホアプリケーションとは一時的に連携できません。
- 「iPhone との接続方法」設定が、"Bluetooth" のときは、iPod ソース中に電話帳を登録すると、iPod の接続が一時的に切断されます。
- 電話帳登録中に画面を地図画面やメニュー画面などに切り替えたりソースを切り替えると、電話帳登録を中断します。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 ［電話帳］にタッチする

2 ［登録］にタッチする

PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

電話帳を削除する

1 ［電話帳］にタッチする

2 ［削除］にタッチする

3 削除する登録名にタッチして［削除］にタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべてを選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての選択を解除します。

4 ［はい］にタッチする

選択した登録が削除されます。

ダイヤルして電話をかける

1 ［10 キー］にタッチする

2 電話番号を入力して、 にタッチする

3 ［はい］にタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 地点の詳細情報画面を表示する（➜ P.39）

1 にタッチして、［はい］にタッチする

電話が発信されます。

- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

リダイヤルで電話をかける

前回発信した電話番号に発信します。

1 ［リダイヤル］にタッチする

2 ［はい］にタッチする

前回の電話番号に発信されます。

緊急連絡先に電話をかける

マイメニューの「お問い合わせ情報」に入力されている車両の販売店、コールセンター、ロードサービス、保険会社の電話番号が電話メニューの緊急連絡先に登録されています。

1 ［緊急］にタッチする

2 発信したい連絡先にタッチする

電話が発信されます。

［編集］：

お問い合わせ情報画面の連絡先の情報を編集することができます。
編集方法については 22 ページをご覧ください。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを Bluetooth AUDIO に切り替える
（➜ P.70）

① 曲名
　アルバム名
　アーティスト名
② 再生経過時間
③ 音声形式
④ ランダム再生モード
⑤ リピート再生モード
⑥ 再生残り時間
⑦ 再生状態アイコン
⑧ バッテリー残量
⑨ 曲番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	画面のデザイン（ボタンの位置や背景など）が切り替わります。
[デバイス切替]	Bluetooth デバイス接続画面を表示します。（➜ P.119）
⤮	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
▶	再生します。
⏸	一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 • [トップ]： 一番上の階層のフォルダに移動します。 • [一つ上]： 一つ上の階層のフォルダに移動します。

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器をハンズフリー接続したときに表示されます。

ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う

本機はダイハツ純正 ETC 車載器または ダイハツ純正 ETC2.0 車載器を接続することができます。また、接続するにはダイハツ純正 ETC 通信ケーブルが必要です。

- ETC 車載器と ETC2.0 車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- ドライブレコーダーと ETC 車載器は同時に接続できません。(ETC2.0 車載器は除く)

ETC 情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

- ETC 機能についての音声案内 (料金案内、カード挿入 / 排出、カード有効期限、エラーコード) は、本機から出力されます。
- 有効期限は、期限から 1 ヶ月以内になったときに出力されます。
- 本機の電源をオフしたときに ETC カードを入れたままにしたときの警告は本機からは出力されません。

ETC2.0 情報について

ダイハツ純正 ETC2.0 車載器を接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報の提供を受けることができます。

- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。また決済サービスにも対応しておりません。

ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省　国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用及び取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC ／一般」と表示されたレーンをご使用ください。

- 運転中に ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時に約 1 秒間ピーと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。
走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。
アップリンクしないように設定することができます。(➜ P.96) アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。(➜ P.93)
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。対応している情報の種類は、次のとおりです。
  優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報

  一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。(➜ P.60)
- 渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(➜ P.60)

ETC に関する設定をする

ETC の接続設定をする

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 「その他」の［EXP コネクター接続］にタッチする

3 ［ETC］にタッチする

ETC の案内出力を設定する

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする

2 「案内」の［ETC 音声の出力］にタッチする

［ON］：
ETC の音声案内をします。
［OFF］：
ETC の音声案内をしません。

ETC の料金表示を設定する

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする

2 「案内」の［ETC 料金の表示］にタッチする

[ON]：
ETC 料金を表示します。

[OFF]：
ETC 料金を表示しません。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ETC] にタッチする

[車載器情報]：
車載器の情報を表示します。

- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カードの挿入時のみ表示されます。
- ETC 履歴表示中は ETC カードを抜かないでください。

信号情報活用運転支援システム (TSPS) による信号情報案内

本機に別売のダイハツ純正カーナビ連動型高度化光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、高度化光ビーコン（以降、光ビーコン）から送信される信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を受信することができます。
本機は、以下の信号情報案内に対応しています。

- **赤信号減速支援案内**
- **発進遅れ防止支援案内**

⚠
- **本機の信号情報案内は、あくまで補助的な機能です。**
  - **あらゆる状況において作動するものではありません。**
  - **実際の信号機の点灯状況と異なる場合は、信号機の表示にしたがってください。**
- **車両を運転する際は、信号情報案内を過信せず、常に道路標識、前方の信号表示、周囲の道路状況に注意し、交通ルールに基づいて安全な運転を心がけてください。**

信号情報案内利用上のご注意

- 光ビーコンは主に一般道に設置されていますが、すべての光ビーコンで信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報を提供しているわけではありません。詳しくは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
  - 情報を提供している道路であっても、工事や情報配信元の事情により、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。
  - 押しボタン式信号、感応式信号など、情報提供区間であっても、情報が提供されない交差点があります。
- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報は、光ビーコンを通過した時点でのものです。このため、その後の状況の変化により、信号情報案内と実際の信号機の点灯内容が異なる場合があります。
  - 案内する交差点の手前に押しボタン式信号、感応式信号がある場合、表示するタイミングがずれる事があります。
  - 渋滞など、道路の通行状況が変化した場合、表示するタイミングがずれる事があります。
- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の情報には有効期限があります。このため情報を受信してから一定時間が経過すると、有効期限を過ぎてしまい、次に情報を受信するまで信号情報案内ができなくなります。
- 信号情報活用運転支援システム (TSPS) の概念や整備計画については、VICS センターにお問い合わせください。
- 本機から光ビーコンへ、走行軌跡の情報がアップリンクされます。この情報は、交通状況を把握するためのもので、個人の情報を特定するものではありません。信号情報案内の表示をOFF に設定するとアップリンクされなくなります。
- 以下の場合は光ビーコンからの信号の受信が困難になることがあります。
  - 通信エリア外
  - 雨や雪の影響がある
  - 大型車両の並走などでビーコン発信器の光が遮られた
  - ビーコンアンテナ付近に光ビーコンを遮るものがある
  - アンテナ受光面が汚れている
  - 直射日光がアンテナ受光面に当たっている

信号情報案内の設定をする

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [ナビ] にタッチする

2 「案内」の［信号情報案内（TSPS）の表示］にタッチする

[ON]：
信号情報案内を行います。

[OFF]：
信号情報案内を行いません。

地図に表示される信号情報案内

本機は、前方の交差点を直進方向に進行すると想定して、信号情報案内を行います。

- ルート案内中で、右左折を案内する交差点については案内を行いません。
- 矢印信号については、信号機の点灯状況と異なる案内をする、または案内が動作しない場合があります。
- 信号情報案内が可能になったときに、対象となる交差点までの距離が近い場合は、案内を行わない場合があります。

交差点を通過すると、信号情報案内を終了します。ひきつづき信号情報案内が可能な交差点がある場合は、案内を続けます。

■ 支援状態の表示

信号情報活用運転支援システムの情報を光ビーコンから受信すると、画面に「支援エリア」と表示されます。

信号情報案内可能な交差点に近づくと、表示が「支援中」に切り替わります。

信号情報案内する情報が無くなった場合は、「支援中」または「支援エリア」の表示が消えます。

■ 赤信号減速支援

現在の速度のまま交差点に近づいたときの前方の交差点の信号状態を予測して表示します。

赤信号になるとき：

赤信号減速支援案内を表示し、「この先、赤信号です」と音声案内します。
交差点に接近する、または減速すると、表示が消えます。

- 表示を開始するのは、交差点のおよそ200m 手前ですが、その間に信号があるときは表示されないことがあります。
- 高速走行時、低速走行時は案内を行わない場合があります。

■ 発進遅れ防止支援

交差点を赤信号で停車したとき、おおよその信号待ち時間を表示します。

信号待ち時間が 5 秒以下になると、表示が切り替わり「まもなく青信号です」と音声案内します。交差点が青信号になると、表示が消えます。

- 以下の場合は、発進遅れ防止支援の案内を行いません。
  - 交差点より一定距離以上離れている場合
  - 一度も交差点の前で停車していない。
  - 停車時点で赤信号の待ち時間が少ない場合
  - 信号機に矢印信号が点灯しているとき
  - 信号機の制御方式等により、光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

バックモニター / パノラマモニターを使う

使用上のご注意

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- バックモニター機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質またはガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 本機で対応しているバックモニターは、一部の車両にのみ装着されている ダイハツ純正 バックモニター、ダイハツ純正 3 モードカメラ、または ダイハツ純正 パノラマモニターです。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

バックモニターの接続を設定する

バックモニターを接続しているときに設定します。

バックモニター接続設定

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 「カメラ」の［バックモニター機能］にタッチする

3 バックモニター機能の設定にタッチする

[ON]：
一部の車両にのみ装着されている ダイハツ純正 バックモニター、ダイハツ純正 3 モードカメラ、または ダイハツ純正 パノラマモニターを接続したときは「ON」にしてください。

[OFF]：
バックモニターを接続していないときは「OFF」にしておいてください。

バックモニターの映像を表示する

本機に接続したバックモニターの映像を表示します。カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- **バックモニターシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。**

⚠
- **警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に切り替えてください。**

ダイハツ純正 バックモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

▼

バックモニターの映像が表示されます。
表示されるガイド線の表示は車両によって異なります。

■ ステアリング連動に対応している場合

ステアリング連動に対応している場合は以下の画面が表示されます。

モニター映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。

▼

[固定線]：

固定のガイド線（緑の線）を表示したり消したりします。

[予測線]：

予測（赤と黄の線）のガイド線を表示したり消したりします。

[下位置] / [上位置]：

警告文の位置を変更します。

[映像調整]：

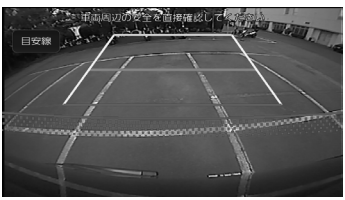
バックモニター映像の画質を調整します。
（➜ P.71）

[非表示]：

操作ボタンを消します。

■ ステアリング連動に対応していない場合

ステアリング連動に対応していない場合は以下の画面が表示されます。

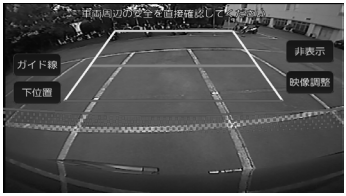


[目安線]：

目安線を表示したり消したりします。

モニター映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。

▼



[非表示]：

操作ボタンを消します。

[ガイド線]：

ガイド線を表示したり消したりします。

[映像調整]：

バックモニター映像の画質を調整します。
（➜ P.71）

[上位置] / [下位置]：

警告文の位置表示を変更します。

ダイハツ純正 3モードカメラを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

▼

バックモニターの映像が表示されます。
モニター映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。

▼

[非表示]：

操作ボタンを消します。

[映像調整]：

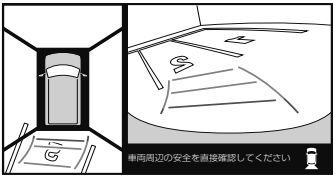
バックモニター映像の画質を調整します。
（➜ P.71）

①、②については 137 ページをご覧ください。

ダイハツ純正 パノラマモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）

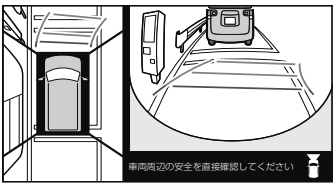
■ 後方の映像を表示する

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



■ 前方の映像を表示する

1 約 10km/h 以下に減速して、現在地図画面の [カメラ] にタッチする



- 車のシフトレバーを“R”（リバース）にしないと、後方の映像は表示されません。
- 後方の映像を表示中にシフトレバーを“R”（リバース）以外に切り替えると、後方の映像に切り替える前の画面に戻ります。
- 前方の映像（全周囲、ワイド）を表示中に約 10km/h 以上で走行すると、現在地図に戻ります。
- 前方の映像を表示中に【メニュー】、または【現在地 /AV】を押すと、メニュー画面または現在地図画面に切り替わります。
- 前方の映像を表示させたまま約 3 分間何も操作をしないと、切り替える前の画面に戻ります。
- 約 10km/h 以上で走行中に [カメラ] にタッチすると、サイドの映像に切り替わります。

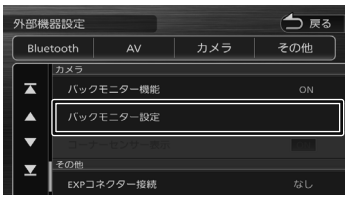
ガイド線を調整する

ダイハツ純正 バックモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）

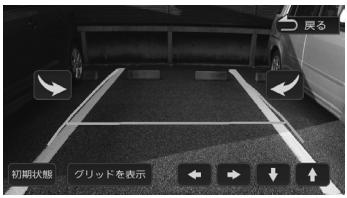
■ ステアリング連動に対応している場合

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 「カメラ」の［バックモニター設定］にタッチする



3 ◀ / ▶ / ▼ / ▲ / ↘ / ↙ にタッチして、ガイド線の位置を調整する



[初期状態]：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

[グリッドを表示]：
画面にグリッド（格子状の線）を表示したり消したりします。

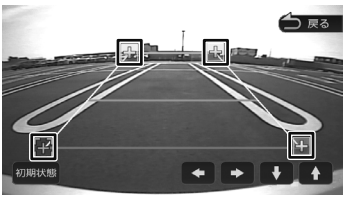
- 走行中は、ガイド線調整はできません。

■ ステアリング連動に対応していない場合

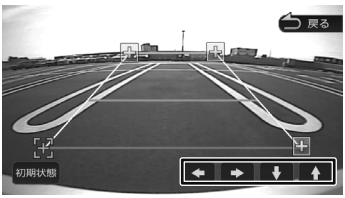
1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 「カメラ」の［バックモニター設定］にタッチする

3 調整するカーソル（ ）にタッチする



4 / / / にタッチして、ガイド線の位置を調整します。



［初期状態］：
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

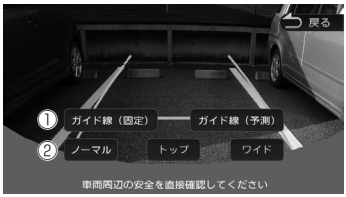
・ 走行中は、ガイド線調整はできません。

ダイハツ純正 3 モードカメラを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 「カメラ」の［バックモニター設定］にタッチする

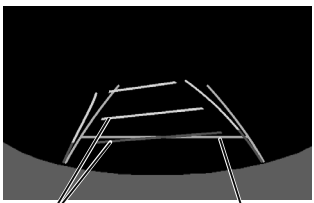
3 表示方法を設定する



①ガイド線の表示 / 非表示を設定する

［ガイド線（固定）］：
ガイド線 (固定) を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

［ガイド線（予測）］：
ガイド線 (予測) を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。
ガイド線（予測）は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。



②表示方法（ビュー）を設定する

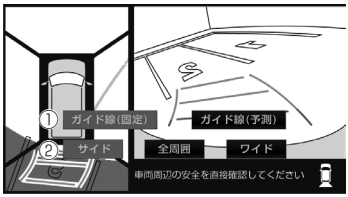
［ノーマル］［トップ］［ワイド］：
画面の表示方法を切り替えます

［戻る］：
設定を終了して、外部機器設定メニューに戻ります。

ダイハツ純正パノラマモニターを接続しているとき（一部の車両にのみ装着）

1 パノラマモニターの画面を表示させ、画面にタッチする

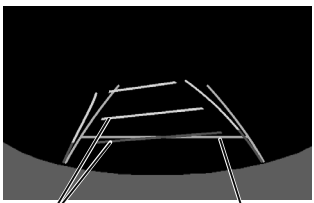
2 表示方法を設定する



①ガイド線の表示 / 非表示を設定する

［ガイド線（固定）］：
ガイド線 (固定) を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

［ガイド線（予測）］：
ガイド線 (予測) を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。
ガイド線（予測）は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。



ガイド線 (予測) 赤 / 黄　　ガイド線 (固定) 緑

②表示方法（ビュー）を設定する

［サイド］［全周囲］［ワイド］：
画面の表示方法を切り替えます

障害物検知表示（一部の車両にのみ装着）

車両を後退させるときに、進行方向の約６０cm以内に車両のコーナーセンサーが障害物を検知すると、本機の画面に、障害物の方向と距離をイラストと色で表示します。また車両からはブザー音でお知らせします。

障害物までの距離	アイコンの色	車両からのブザー音
約 60 ～ 45cm	緑	ピッピッピッ・・・・
約 45 ～ 30cm	黄	ピピピピピピ・・・・
約 30cm 未満	赤	ピーーーーーーーー

- コーナーセンサーのアイコンは、表示しないように設定することができます。（➜ P.113）

ドライブレコーダーを使う

本機能は別売のナビ対応のダイハツ純正ドライブレコーダーを接続した場合に表示・操作できます。
ドライブレコーダー（2チャンネル　ナビ連動モデル）に対応しています。

- バックモニター、パノラマモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合は、後方の映像も録画 / 撮影されます。

ドライブレコーダーの上下の角度や前後の位置を調整するときは、必ず販売店にご依頼ください。不用意に角度を変更すると、破損したり、ブザーが鳴り続ける場合があります。

- ドライブレコーダーと ETC 車載器は、同時に接続することができません。
- 本機のデモ走行機能を使用している間は、録画ファイルに位置情報は保存されません。このため、デモ走行中の録画ファイルを再生した場合は、地図は表示されません。

ドライブレコーダー使用時のお願い

ドライブレコーダーについて

- 必ずドライブレコーダーに microSD メモリーカードを挿入してご使用ください。
  - ドライブレコーダーに付属の microSDHC メモリーカード、またはドライブレコーダーで使用できる microSD メモリーカードをご使用ください。（➜ P.140）
  - microSD メモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機の「ドライブレコーダー設定」の「SD カード初期化」で初期化してください。（➜ P.144）
- 車のエンジンをかけた直後（ACC ON）やエンジンを切った直後（ACC OFF) は、ドライブレコーダーが動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 推奨動作温度（－ 10℃～＋ 60℃）の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- LED 式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 全ての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- microSD メモリーカードを挿入した状態で、ドライブレコーダーを譲渡または処分するときは、プライバシー保護のため記録データを消去してください。（➜ P.149）

電源について

- 「駐車録画」（➜ P.143）が「ON」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- ドライブレコーダーを利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がドライブレコーダーを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- ドライブレコーダーの使用や使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損失、記憶内容の変化 / 消失など) に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドライブレコーダーの駐車録画機能を使用したことによる、車のバッテリー上がりについては、補償できません。
- 次の場合、補償はできません。
  - 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことによりドライブレコーダーが正常に動作しなくなった場合
  - 誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに microSD メモリーカードに記録されていたデータが変化・消失した場合

ドライブレコーダーで使用できる SD メモリーカード

- microSDXC メモリーカード
  （Class10 以上・128GB 以下）*1*2
- microSDHC メモリーカード
  （Class10 以上・8GB ～ 32GB 以下）*1*3

*1：SD 規格準拠カードのみ使用できます。
*2：容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。
*3：容量が 4GB 以下の microSD メモリーカードは使用できません。

ドライブレコーダーに付属または**ダイハツ純正** microSD メモリーカードを使用することをおすすめします。
※ 本章では、上記のメモリーカードを「microSD メモリーカード」と表記しています。

- microSD メモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機の「ドライブレコーダー設定」の「SD カード初期化」で初期化してください。（➜ P.144）
- 「SD カード初期化」（➜ P.144）以外の方法で初期化（フォーマット）しないでください。
- ドライブレコーダーで使用している microSD メモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSD メモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。
- 規格に準拠した microSD メモリーカードでも、ドライブレコーダーでは使用できない場合があります。

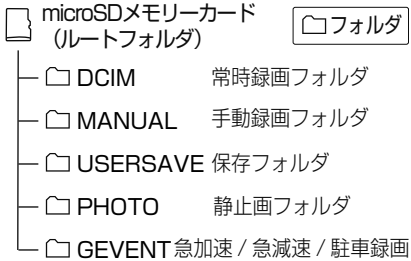
microSD メモリーカードの取り扱いについて

- データの読み書き（録画や再生、初期化など）をしているときに、microSD メモリーカードをドライブレコーダーから取り出さないでください。
- microSD メモリーカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSD メモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 市販の microSD メモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSD メモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSD メモリーカードにシールやラベルを貼り付けないでください。
- microSD メモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクタ*1 などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。本機の起動時などに、microSD メモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または**ダイハツ純正** microSD メモリーカードに交換することをおすすめします。

*1：長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

記録データが保存される階層について

ドライブレコーダーで録画された動画および撮影された静止画は、microSD メモリーカードに下記の階層で保存されます。



- microSD メモリーカード内のフォルダ、ファイルの名称は、変更しないでください。

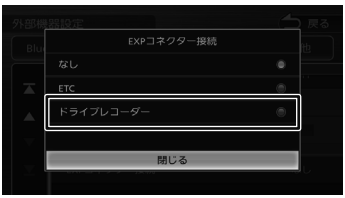
ドライブレコーダーの接続設定をする

通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う確認です。

1 【メニュー】を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする

2 「その他」の［EXP コネクター接続］にタッチする

3 ［ドライブレコーダー］にタッチする



メッセージが表示されます。

4 本機の電源をオフにして 10 秒経過後に電源をオンにする

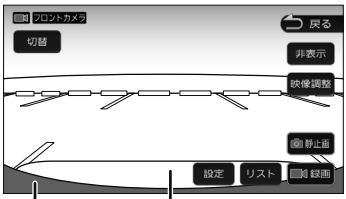
設定が変更されます。

カメラの映像を確認する

通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う確認です。

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］にタッチする

2 映像が正しく映し出されていることを確認する

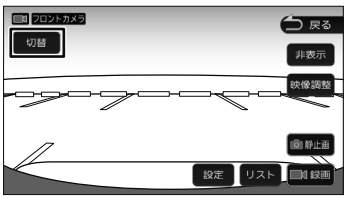


ダッシュボード　ボンネット

映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

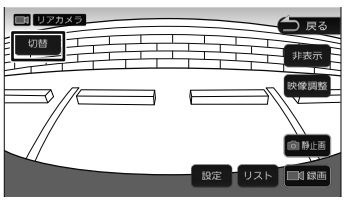
バックモニター、パノラマモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合は、［切替］を選ぶと、前方 / 後方のカメラ映像が切り替わります。

前方のカメラ映像



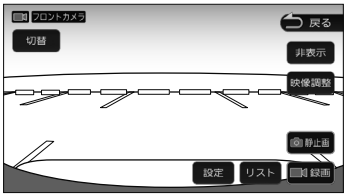
↑↓

後方のカメラ映像



ドライブレコーダー映像画面の操作

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



[切替]：
タッチするたびに、前方（フロントカメラ）と後方（リアカメラ）の映像表示に切り替わります。

[設定]：
ドライブレコーダー設定画面を表示します。（➜ P.143）

[リスト]：
録画ファイルリストを表示します。（➜ P.146）

[録画] / [停止]：
手動録画を開始 / 停止します。（➜ P.145）

[静止画]：
静止画を撮影します。（➜ P.146）

[映像調整]：
ドライブレコーダー映像の画質を調整します。（➜ P.71）

[非表示]：
操作ボタンを消します。

[戻る]：
メニュー画面に戻ります。

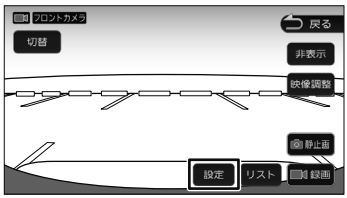
加速度センサーを最適化する

走行中、急加速 / 急減速をお知らせするブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける（ピピピ…短く 8 回）場合は、加速度センサーの最適化を正しく行ってください。
最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速 / 急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。
※ 必ずドライブレコーダーに microSD メモリーカードが入っている状態で行ってください。

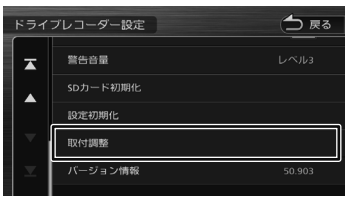
1 平坦な場所に停車する

2 【メニュー】を押して [ドライブレコーダー] にタッチする

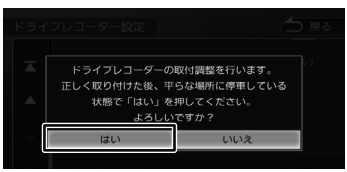
3 [設定] にタッチする



4 [取付調整] にタッチする



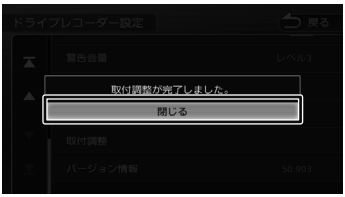
5 [はい] にタッチする



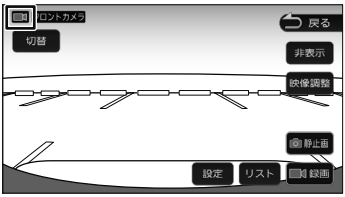
最適化を開始します。

最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない（ACC OFF にしない）でください。

6 ［閉じる］にタッチする



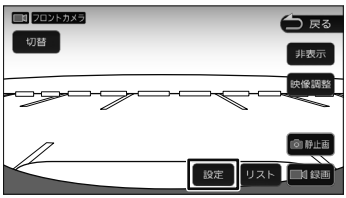
7 ドライブレコーダーの画面を表示させ、ドライブレコーダーが録画中であるマークが表示されていることを確認する



ドライブレコーダーの設定をする

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］にタッチする

2 ［設定］にタッチする



3 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
録画画質	高画質 */ 標準	録画するファイルの画質を設定します。
音声録音	ON*/OFF	録画中、音声を録音するかどうかを設定します。
急加速 / 急減速の感度	レベル 1/2/3*/4/5	急加速 / 急減速の測定感度を調整します。1(低感度)～3～5(高感度)
急加速 / 急減速の感知音	ON*/OFF	急加速 / 急減速が記録された際に、感知音を出力するかどうかを設定します。
駐車録画	ON/OFF*	駐車中に振動を検知すると、自動で録画するかどうかを設定します。
駐車録画のお知らせ	ON/OFF*	ACC ON 後に駐車中に録画があったことを、メッセージ表示でお知らせするかどうかを設定します。
駐車録画の感度	レベル 1/2/3*/4/5	振動を検知する感度を調整します。1(低感度)～3～5(高感度)
駐車録画の時間	10 秒 / 30 秒 */1 分	駐車録画の記録時間を設定します。

つづく➜

項目	設定	説明
駐車録画の無効時間	1 分 */3 分 /5 分	ACC OFF 後、駐車録画モードになるまでの時間を設定します。 ・駐車録画モードになるまでは、振動を検知しても録画は開始されません。
ドライブレコーダータイプ※	※通常は、この操作は必要ありません。販売店が行います。 フロント * : 前方にのみカメラがある場合に選択します。 フロント / リア : 前後にカメラがある場合に選択します。	
起動音	ON*/OFF	ドライブレコーダーの電源が入った際に起動音を出力するかどうかを設定します。
警告音量	レベル 1/2/3*/4/5	ドライブレコーダーの音量を設定します。 ・ドライブレコーダータイプが「フロント / リア」に設定されている場合のみ設定できます。
SD カード初期化	ドライブレコーダーで使用している microSD メモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にします。(メモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。) ・microSD メモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSD メモリーカードを交換したときなどに行ってください。 ・ドライブレコーダーに付属の microSD メモリーカードを初期化すると、収録されているパソコンアプリ「PC ビューアー」のインストーラーも削除されます。	
設定初期化※	ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。(録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)	
取付調整	ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化します。(➜ P.142)	

* : お買い上げ時の設定です。
※ :「ドライブレコーダータイプ」の変更と、「設定初期化」を行うと、本機の電源をオフにして、10 秒後に本機の電源をオンにする必要があります。電源オフオンを行わないと、本機の操作ができません。安全な場所に停車してから操作してください。

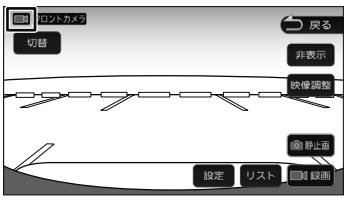
・本機の設定を初期化すると、ドライブレコーダータイプは「フロント」になります。前後にカメラがある場合は、「フロント / リア」に設定しなおしてください。

常時録画（動画）

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1 分ごとに記録ファイルを microSD メモリーカードへ保存します。
常時録画を開始すると、ドライブレコーダーの LED ランプが緑色に点灯します。
microSD メモリーカードの容量がなくなると、常時録画ファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

- 手動録画した記録ファイル（➜ P.145）、保存フォルダに移動した記録ファイル（➜ P.148）は、自動削除されません。
- 常時録画で記録された、急加速 / 急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSD メモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速 / 急減速情報のある動画を記録した場合は、古い急加速 / 急減速情報のあるファイルが自動削除される場合があります。
- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。(➜ P.148)

・常時録画中または手動録画中は、本機の画面に以下のマークが表示されます。録画停止中は、マークは表示されません。



駐車録画（動画）

駐車中（ACC OFF 中）に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

- 「駐車録画」を「ON」に設定してください。（➜ P.143）
- 駐車録画は、バックモニター、パノラマモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合でも、後方の映像は録画されません。

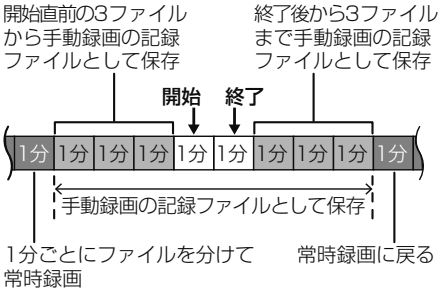
■ 駐車中に駐車録画があったときは

「駐車録画のお知らせ」（➜ P.143）が「ON」に設定されている場合は、車のエンジンをかけたとき（ACC ON）、「駐車中にドライブレコーダーの録画がありました。録画映像をご確認ください。」と表示されます。

- 「駐車録画の無効時間」（➜ P.144）が短い場合、車のエンジンを切ってから（ACC OFF）降車、荷物の出し入れなどを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。（「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。）
- 「駐車録画」（➜ P.143）が「ON」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

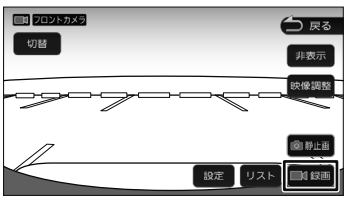
手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルが手動録画の記録ファイルに置き替わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。



1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］にタッチする

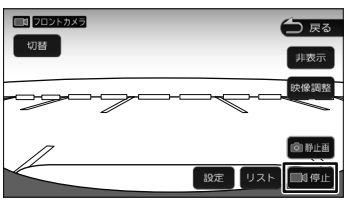
2 ［録画］にタッチする



動画の録画を開始します。
2 分後に手動録画を停止します。

■ 手動で録画を終了させるには

1 ［停止］にタッチする

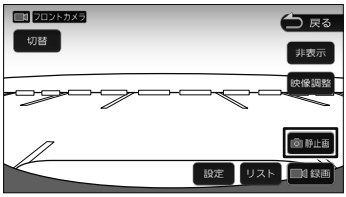


動画の録画を終了します。

手動で静止画を撮影する

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］にタッチする

2 ［静止画］にタッチする



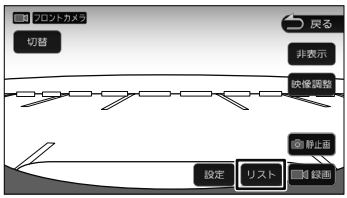
タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］にタッチする

2 ［リスト］にタッチする



3 再生したいフォルダにタッチする

4 再生したいファイルにタッチする

：急加速 / 急減速録画ファイル

：手動録画ファイル

：駐車録画ファイル

▼

選んだファイルの再生を開始します。

動画再生画面の見かたと操作

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

① 録画したカメラの種類
（フロントカメラ / リアカメラ）
② 録画日時
③ 録画位置情報

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	タッチするたびに、フロントカメラとリアカメラの録画ファイルを切り替えます。 前方 ↑↓ 後方
[地図表示]	地図表示モードで再生します。 (➜ P.148)
▶ / ❚❚	再生または一時停止します。
⏮ / ⏭	前のファイルを再生 / 次のファイルを再生します。タッチし続けると、早戻し / 早送りします。
[削除]	再生中のファイルを削除します。 (➜ P.149)
[映像調整]	映像の画質を調整します。画質の調整については、「画質を調整する」(➜ P.71) をご覧ください。
[非表示]	操作ボタンや表示を消します。
[戻る]	録画ファイルリスト画面に戻ります。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

静止画表示画面の見かたと操作

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。

① 記録したカメラの種類
（フロントカメラ / リアカメラ）
② 記録日時
③ 記録位置情報

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[切替]	タッチするたびに、フロントカメラとリアカメラの静止画ファイルを切り替えます。 前方 ↑↓ 後方
[地図表示]	地図表示モードで再生します。 (➜ P.148)
⏮ / ⏭	前のファイルを表示 / 次のファイルを表示します。
[削除]	表示中のファイルを削除します。 (➜ P.149)
[映像調整]	映像の画質を調整します。 画質の調整については、「画質を調整する」(➜ P.71) をご覧ください。
[非表示]	操作ボタンや表示を消します。
[戻る]	録画ファイルリスト画面に戻ります。

操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

地図表示モードで再生する

再生中の録画ファイルの位置を地図で表示し、小画面で録画ファイルを再生します。
静止画も撮影した位置を地図で表示し、小画面に静止画を表示します。

1 ［地図表示］にタッチする

地図表示モードに切り替わります。

- 地図表示モードでは、地図の向きの変更、スクロール、映像調整はできません。
- 位置情報がないファイルを再生すると、［地図表示］はタッチできず、地図表示モードに切り替わりません。

■ 録画ファイル再生画面に戻す

1 ドライブレコーダー映像表示部分にタッチする

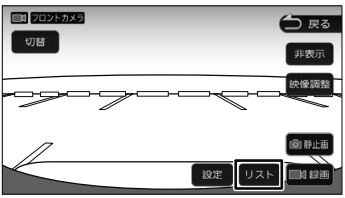
録画ファイル再生画面に戻ります。

ファイルを保存フォルダへ移動する

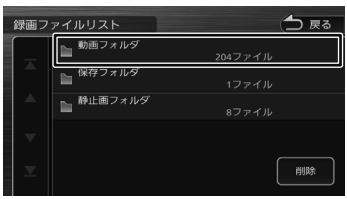
保存フォルダに移動されたファイルは、自動削除されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

1 【メニュー】を押して［ドライブレコーダー］にタッチする

2 ［リスト］にタッチする



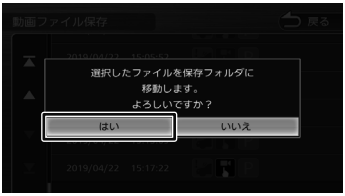
3 ［動画フォルダ］にタッチする



4 ［保存］にタッチする

5 移動させたいファイルにタッチする

6 [はい] にタッチする



選んだファイルが保存フォルダ（➜ P.140）へ移動されます。

ファイルを削除する

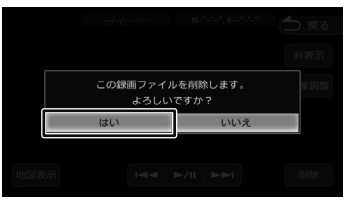
- ファイルを削除すると、動画 / 静止画は前後両方とも削除されます。どちらか一方のみを削除することはできません。

■ 再生中 / 表示中のファイルを削除する

1 録画ファイルリスト（➜ P.146）から削除したいファイルにタッチする

2 [削除] にタッチする

3 [はい] にタッチする



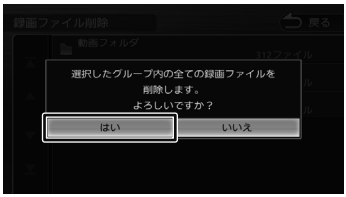
選んだファイルが削除されます。

■ フォルダ内のファイルを全て削除する

1 録画ファイルリスト（➜ P.146）を表示させ、[削除] にタッチする

2 削除したいフォルダにタッチする

3 [はい] にタッチする



選んだフォルダ内の全てのファイルが削除されます。

後席モニターを使う

本機に別売のダイハツ純正後席モニターを接続すると、本機の映像を後席モニターに表示することができます。（一部の車両にのみ装着）

後席モニターに表示できる映像について

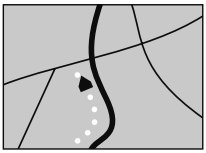
ソース
DISC：DVD-Video/DVD-VR
USB：ビデオファイル
SD：ビデオファイル
地デジ（NMZK-W70D のみ）

- 本機で再生できるビデオファイルについては 163 ページをご覧ください。

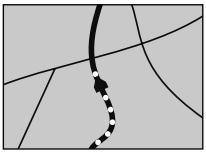
自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3D センサーについて

内蔵の 3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。
高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1）次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
- トンネルの中やビル内の駐車場
- 2 層構造の高速道路の下
- 高層ビルの群衆地帯
- 密集した樹木の間

2）GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
3）3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

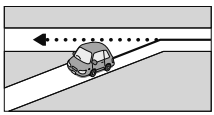
GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

1）電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
2）GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

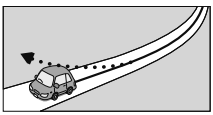
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さい Y 字路を走行した場合

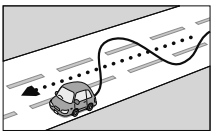


直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後

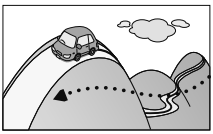


砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合

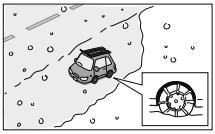
蛇行運転をした場合



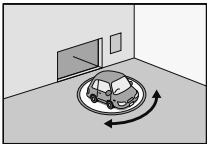
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



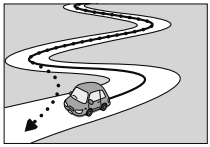
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



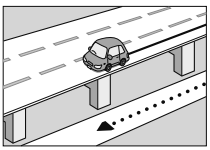
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



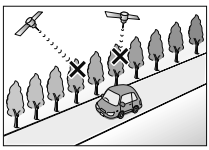
ヘアピンカーブが続いた場合



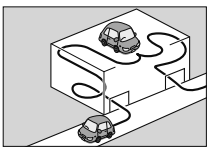
高速道路と側道などが隣接している場合



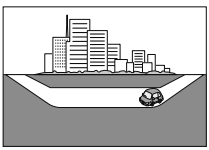
GPS による測位ができない状態が長く続いた場合



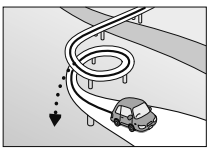
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



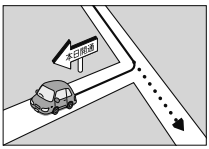
地下駐車場やトンネルなど、GPS 衛星による測位が長時間できない場合



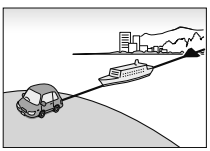
ループ橋などを走行した場合



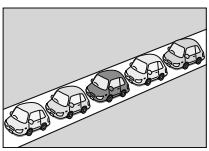
地図データにはない、新設道路を走行した場合



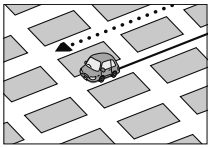
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来の GPS 衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。
(準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称
	信号機
	都道府県庁舎
	市特別区庁舎
	町村指定都市区庁舎
	官庁公共施設
	警察
	消防
文	学校
〒	郵便局
	病院
D	デパート / スーパー
	カー用品店
IC	IC
SA	SA
PA	PA
P	パーキング
	工場
	飛行場
	フェリー
	港
¥	料金所

記号	名称
	マリーナ
	史跡名勝
	城跡
	神社
卍	寺院
	教会
	海水浴場
	ゴルフ場
	スキー
	キャンプ
	遊園地
	動物園
	公園
	ホテル
	スタジアム
	スポーツ施設
	植物園
	美術館
	博物館
	水族館
	図書館

記号	名称
	テーマパーク
	城・天守閣
	展望タワー
	温泉
	山頂
	自衛隊
	墓地
	ボウリング場
	サッカー
	競馬場ウィンズ
大	大学
短大	短大
高専	高専
高校	高校
中	中学校
小	小学校
文	その他学校
	保健所
■	税務署
	発電所
■	裁判所

記号	名称
	灯台
	ホール
IC	スマート IC
■	その他の目的物
	NTT
	サーキット
	テニスコート
	ディスカウントストア
M	ビルアパート名称
	道の駅
	ヘリポート
	乗馬
	体育館
	牧場
	自動車学校
	トンネル
	船着場（観光船等）
	野球場
	展望台

- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して 1 つのマークで表示されることもあります。

サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称
IC	IC
スマートIC	スマートIC
SA	SA
PA	PA
JCT	JCT
IC JCT	IC/JCT（併設）
IC SA	IC/SA（併設）
IC PA	IC/PA（併設）
SA JCT	SA/JCT（併設）

記号	名称
PA JCT	PA/JCT（併設）
¥	料金所
スマートIC	スマートIC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
オアシス	ハイウェイオアシス
	インフォメーション

記号	名称
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	障害者用トイレ
	ATM
	トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
  ©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第 44 条に基づく成果使用承認）[2018 年 3 月発行データ使用]
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日)
- このデータは、国土地理院の技術資料 C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像 (平成 26 年 12 月 10 日撮影)」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分 1 国土基本図を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 256 号 -46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報)、数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地名情報) 及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 30 情使、第 406 号 -46 号）
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
  URL：http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2019_1.pdf

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2018 年 9 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

駐車場データについて

- 駐車場データは、2019 年 4 月 1 日まで対応しています。但し、2018 年 11 月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。

タウンページデータ / ハローページデータについて

- タウンページデータは、NTT タウンページ株式会社が提供する 2018 年 9 月現在のデータを収録しています。
- 訪問宅（個人宅）電話番号データ (ハローページデータ) は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2018 年 9 月現在のデータを収録しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

住所データについて

- 住所データについては 2018 年 10 月時点の住所マスターデータを使用しています。
- 市区町村合併については、2019 年 4 月 1 日施行分まで対応しています。但し、2018 年 10 月時点で取得できた情報までに限ります。

郵便番号データについて

- 郵便番号データは、2018 年 10 月時点のデータを使用しています。
- 大口事務所・私書箱については、2018 年 10 月時点のデータを使用しています。

料金データについて

- 高速道路 (有料道路を含む) 料金データは、2018 年 9 月調査で 2019 年 4 月 1 日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは 2019 年 3 月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数 (チャンネル) 変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

施設情報および個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

  なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではございません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017（一般財団法人）日本デジタル道路地図協会
©2019 INCREMENT P CORPORATION

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および / または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。
使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第１条（総則）
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第３条第１項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第２条（使用権）
1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第３条（許諾条件）
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウエア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第４条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用､再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第５条（ライセンサーの免責）
1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウエア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第６条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第７条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第８条（契約の解除）
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第９条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から２週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条（著作権保護）
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条（輸出規制）
1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法 (アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます) に従うことに同意するものとします。

第 12 条（その他）
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。
当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。
ホームページアドレス
https://www.kenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。
掲載場所は［情報・設定］ー［システム］ー特別内の［オープンソースライセンス］です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- **VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはお買い上げの販売会社へお問い合わせください。**
- **VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICS センターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）**

  ＜問い合わせ先＞
  VICS センター
  電話番号
  0570-00-8831
  ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
  ※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。
  電話受付時間
  9:30 ～ 17:45
  （但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
  FAX 受付時間　　24 時間
  FAX 番号（全国）　03-3562-1719

- **VICS の最新情報について**

  VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
  インターネット URL http://www.vics.or.jp/

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

- VICS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）
第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
（4）VICS デスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）
第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　VICS サービスは、VICS 対応ＦＭ受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICS サービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応ＦＭ受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第 12 条　1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。
また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第 15 条　1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第 17 条　1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICS サービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］
視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

- **ディスク再生対応一覧表**

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	−
	DVD オーディオ	×	−
	DVD-R	○	VR モード対応（DVD-R/RW のみ）CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL（2 層）	○	
	DVD-R DL（2 層）	○	
	DVD-RAM	×	−
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	−
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	−
	フォト CD	×	−
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	−
その他	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/
Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 記録面（レーベル面の反対側）が着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。
DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

● DVD ディスクのマーク

記号	内容
ALL	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどの DVD プレーヤーでも再生できます。
8	収録されている音声の言語数を表します。1 本の映画の中に最大 8 つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
32	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32 カ国語まで収録できます。
9	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

禁止マーク

DVD は、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは上記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard) には対応していません。
*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

● SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

● miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
● ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
● 本機で使用できない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32、または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
● 本機は SD-Audio には対応していません。
● 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
● SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB 1.1/USB 2.0*1
デバイスクラス	マスストレージクラス（MSC device）*2
最大消費電流	2.1A 以下（USB ケーブル接続時）
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

*1：USB3.0 には対応していません。
*2：使用する USB デバイスが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
*3：この他のファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

● 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
● セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
● USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
● USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
● USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック ＼ メディア		CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます　×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/ 24bit*1	16bit	16bit/ 24bit*1
ビットレート	8 ～ 320kbps, VBR	8 ～ 320kbps	8 ～ 320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz*2	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz*2
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/ 2.2/2,3/2,4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル : 0 ～ 8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

*1：16bit 相当で再生します。
*2：CD メディアは 48kHz まで対応。48kHz 以上のファイルは、48kHz 相当で再生します。
※ タグの文字数は全角 80 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。
※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイルコンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC			MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC
最大ピクチャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080				1920 × 1080	
最大フレームレート	30fps			30fps				30fps	
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。
※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。
※ 本機ではファイルサイズが 4GB 以下のビデオファイルが再生できます。

（1）ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名　全角 80 文字 (拡張子は除く)
フォルダ名　全角 80 文字
※ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：

¥、\、/、:、*、?、”、<、>、|
ファイルには正しく拡張子を付けてください。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

（2）ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999
ディスク内の最大ファイル数：5000

- ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります .

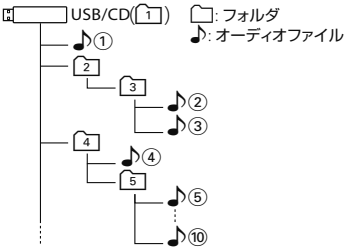
USB 機器および SD カード：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999
1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

- フォルダ階層数に制限はありませんが、フォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

ファイル名の昇順
ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



(4) ご使用上の注意事項

- ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。
Made for

- iPod touch (6th generation)
- iPhone XS
- iPhone XS Max
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s

● 音楽再生のみに対応
● 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
● 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
  ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
  電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
  オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
  オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
  Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.3.0 準拠

* SCMS-T 対応
（SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。）

- 動作を確認した携帯電話機については URL をご覧ください。https://www.kenwood.com/jp/products/oem/daihatsu/
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応コーデック

SBC/AAC

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● **共通**

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。(➜ P.71)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト (➜ P.71)、画面の明るさ (➜ P.24)、視野角 (➜ P.18) を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(➜ P.71)
バックモニターに切り替わらない。	バックモニター機能の設定が“OFF”になっている。	バックモニター機能の設定を“ON”にしてください。
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(➜ P.103)
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーまたはスピーカーの配線に異常がある。	お買い上げの販売店にご相談ください。

● **ナビ機能**

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m 以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。(➜ P.69)
経由地を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。(➜ P.63)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。

症状	考えられる原因	対処方法
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 50 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50 か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。(➜ P.114) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICS の地図表示情報（レベル 3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、10m ～ 1km（一般道は 10m ～ 500m、一般道の駐車場情報は 10m ～ 200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。(➜ P.95)
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が“OFF”に設定されている。	ナビ設定画面で、割り込み表示を“ON”に設定してください。(➜ P.96)
マイルートアジャスターの渋滞回避を設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	マイルートアジャスターの渋滞回避は、渋滞道路を必ず回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	現在提供されている VICS 情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“自動”に設定してください。(➜ P.100)
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が“OFF”に設定されている。	ルート案内の音声出力を“ON”に設定してください。(➜ P.98)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【現在地 /AV】を押して現在地図画面に切り替えてください。(➜ P.34)
	画面がオフになっている。	【現在地 /AV】を押すか、画面にタッチしてください。(➜ P.24)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。

症状	考えられる原因	対処方法
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音量を大きくしてください。(➜ P.98)
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置（約 1 時間）してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。(➜ P.79)
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD の禁止マーク“⃠”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(➜ P.163)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(➜ P.163)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB 以下のビデオファイルが再生できます。

● 地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。(➜ P.76)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。(➜ P.76)
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。(➜ P.76)
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	● 見通しのいい場所に移動してください。 ● ワンセグに切り替えてください。(➜ P.75)
	ワンセグ /12 セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	● iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 ● iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。

症状	考えられる原因	対処方法
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(➜ P.163)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、”、<、>、| ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていません。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。 記載されていない場合は“0000”を試してください。
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎます。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げています。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。 または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中です。 または、他のプロファイルで通信中です。	たとえば、電話帳の登録中などには、音声が途切れる場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっています。	通話中に調整してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。
スピーカー配線に異常があります。 販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
GPS 信号を受信できません。 接続情報画面で接続状態を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
車速パルスが検出できません。 接続情報画面で接続状態を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ステアリングスイッチキーの 学習ができませんでした。	もう一度学習し直してください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。 他の SD カードを使用してください。
CD/DVD システムに異常があります。 電源を入れなおしてください。	電源を入れ直してください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、 VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。 ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードが読めません。ETC カードをご確認ください。 ETC カードが読めません。ETC カードをご確認ください。(02)、(03)、(05)	● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC をご利用できません。販売店にお問い合わせください。 ETC をご利用できません。販売店にお問い合わせください。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。

メッセージ	対処
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。
ETC2.0 車載器と通信ができません。 接続情報画面で接続状態を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	お買い上げの販売店にご相談ください。
走行中は調整できません。	バックモニターの設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。（➜ P.163）
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV（DISC）

メッセージ	対処
ディスクが読めません。ディスクに傷や汚れがないか確認してください。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。ディスクに傷や汚れがないか、また本機で再生できるディスクかどうかご確認ください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。ディスクをイジェクトし再度挿入してください。	ディスクをイジェクトまたは強制イジェクトで取り出して、再度挿入してみてください。（➜ P.79）
ディスクがイジェクトできません。オープンキーを押し続けて強制イジェクトを行ってください。	強制イジェクトでディスクを取り出し、再度挿入してみてください。（➜ P.79）

● 地デジ

メッセージ	対処
ご覧のチャンネルのサービス構成が変更されました。 再度初期スキャンを実施してください。	［閉じる］をタッチした後、初期スキャンを再度行ってください。

● USB

メッセージ	対処
使用できない USB デバイスが接続されました。 他の USB デバイスを使用してください。	本機で再生できないデバイスが接続されました。162 ページの「本機で再生できる USB 機器」をご覧ください。

主な仕様

● ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	GPS(+MSAS) & QZSS
受信周波数	1575.42MHz (C/A コード)
追従衛星数	最大 16
VICS	FM 多重（内蔵）、ITS スポット (DSRC) 対応（別売）

● モニター部

画面サイズ（幅x高さx対角）	7.0V 型ワイド 156.6（幅）× 81.6（高さ）× 176.6（対角）mm
表示方式	透過 TN 型
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画素数	1,152,000個 800H×RGB×480V
画素配列	RGB ストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源（照明方式）	カスタム LED バックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W × 4
スピーカーインピーダンス	4 ～ 8 Ω
ビデオ出力	端子：RCA × 1
	映像出力レベル：1Vp-p/75 Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式（日本）（ワンセグ対応）
受信チャンネル	UHF13 ～ 52ch

● チューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0MHz ～ 99.0MHz (0.1MHz)
受信周波数範囲（周波数ステップ）	522kHz ～ 1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V⎓ 2.1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD ± R/ ± RW/ ± R DL CD-DA, CD-R/-RW SACD（CD LAYER ONLY）
リージョン番号	2
サンプリング周波数	44.1/48/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit（直線）

● 対応メディア

DVD-Video		DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA		8cmCD 非対応
CD/DVD	音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
USB/ SD	音声	MP3, WMA, AAC, WAV,FLAC, Vorbis
	映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V ～ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ～+ 60℃
本体	外形寸法（W × H × D） 206mm × 104mm × 176mm
	埋込寸法（W × H × D） 178mm × 100mm × 160mm
	質量（重さ）2,350 g

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書　この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」（➜ P.167）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

特許権 / 著作権 / 商標など

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

MapFan はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICS および VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

「Android™」および「Android ロゴ ™」、「Google Play™」は Google LLC の商標または登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。
「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。
Copyright© 2018 Ubiquitous Corp. All rights reserved.

Ubiquitous

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

FontAvenue

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立超 LSI システムズの登録商標です。

Ruby Talk®
with
Hitachi Speech Synthesizer

「ETC」、「ETC2.0」、「DSRC」は一般社団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

libFLAC
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

数字

3 モードカメラ 134, 135, 137
10 キー 122

B

Bluetooth オーディオ機器の再生 128

D

DVD 再生 81

E

ECO 情報 97
ETC 車載器 129

G

GPS 114

I

iPod を再生する 89

P

PIN コード 121

U

USB 機器 /SD カードのファイル再生 84

V

VICS 情報 91

あ

アスペクト（画面表示サイズ） 71

え

エラーメッセージ 172

お

オートペアリング 117
オートリルート 66
音楽 CD 再生 79
音声案内の音量 98

か

画質の調整 71
画面の操作 19

き

逆走注意喚起 61, 99

け

経由地 62
経由地の削除 63
経由地の順番変更 63
現在位置の修正 100
現在地図画面 34
検索履歴の削除 49

こ

交差点案内図の表示 58
高速道分岐イラストの表示 58
高速道路でのルート案内 57
交通情報（TUNER） 74
コンパスボタン 34, 36

さ

再生できるディスク 161
サウンド設定 103

し

自車マーク（地図） 34
システム設定 109
自宅の登録 42
自宅へ帰る 43
視野角 18
車速パルス 114
ジャンル検索 46, 47
住所検索 48
障害物検知表示 138

す

ステアリングスイッチ 28
スピーカー構成 103

せ

セキュリティインジケーター 109
センサー学習 114

そ

走行軌跡の表示 34, 98
操作音の音量 109
ソース切替画面 70
ソースレベル 108

ち

地図記号 153
地図更新 115
地図の縮尺 35
地点登録 67
チャンネルスキャン（地デジ） 76

て

ディスク挿入口 17
ディスクの出し入れ 78
ディスクメニュー 83
電源オン / オフ 18
電話帳 125, 126
電話の着信 123
電話番号検索 50
電話をかける 123, 125, 127

と

到着予想時刻 / 距離 56
登録機器の削除（Bluetooth） 120
登録地点検索 48
登録地点の編集 68
時計 34

な

ナビ設定 98

の

ノースアップ 36

は

パーキング検出コード 114
パーキングブレーキアラーム 109
バージョン情報 113
ハイウェイモード画面 57
パノラマモニター 114, 134
ハンズフリー通話 122

ふ

フェリーを利用した探索 99
フライビューマップ表示 98
フロントパネルの角度調整 18

ほ

方面看板 34, 99
ボタンの操作音 109

ま

マイメニュー 20
マップクリップ 39

め

メッセージ 172

も

目的地 54
目的地の削除 63
目的地付近の地図表示 65
文字の入力 26

ゆ

ユーザーイコライザー 106, 107

ら

ランドマーク情報の表示 35

り

リスニングポジション 104
リバース検出コード 114
履歴検索 44, 49

る

ルート案内の開始 54
ルート案内の終了 66
ルート全体 65
ルート探索方法の設定 54
ルートの再探索 62

れ

レーン情報 34

MEMO